

祇園 I 遺跡第3次・第4次 発掘調査報告書

2020

令和2年3月

平泉町教育委員会

**祇園 I 遺跡第 3 次・第 4 次
発掘調査報告書**

序

平泉町内には、特別史跡中尊寺境内・毛越寺境内附鎮守社跡・無量光院跡、史跡柳之御所・平泉遺跡群、達谷窟、金鶏山、特別名勝毛越寺庭園、名勝旧親自在王院庭園・おくのほそ道の風景地など奥州藤原氏に関連する数多くの国指定文化財が狭い町域に分布しています。また、このほかに101箇所を数える遺跡や埋蔵文化財が町内に数多く残されています。これらは地域の風土や歴史が生み出した貴重な文化遺産であり、本町の歴史・文化を考える上で重要な資料であります。また、これらの歴史資料は本町のみならず県民・国民的財産であり、その保存・活用の重要性はいうまでもありません。

本報告書は平成29年度と平成30年度に実施した平泉スマートインターチェンジ建設に伴う発掘調査成果を収録したものです。

本調査では、調査区を東西に横断する大溝が見つかり、埋土からは多くの遺物が出土しました。特に、かわらけや国産陶器、当時的高级品とされる中国産磁器が太田川以南の地域からまとまって出土した稀な事例であり、平泉の南方地域における12世紀の歴史を考える上で重要な資料といえます。

調査データは広く活用され、今後の考古学研究・文化財の愛護・理解の一助になれば幸いです。

最後に、ご指導・ご助言をいただきました関係各位並びに地域住民の方々に深く感謝申し上げます。

令和2年3月

平泉町教育委員会

教育長 岩 瀨 実

例 言

- 1 本書は平成 29 年度と平成 30 年度に実施した（仮称）平泉スマートインターチェンジ（以下、「平泉 SIC」とする）建設関連事業に伴う発掘調査の報告である。
- 2 平成 29 年度（祇園 I 遺跡第 3 次発掘調査）の野外調査期間は平成 29 年 10 月 12 日から平成 29 年 12 月 21 日、室内整理は平成 30 年 3 月 31 日までである。また、平成 30 年度（祇園 I 遺跡第 4 次発掘調査）の野外調査期間は平成 30 年 7 月 19 日から平成 30 年 12 月 7 日、室内整理は平成 31 年 3 月 29 日までである。
- 3 発掘調査の主体は平泉町教育委員会である。

平成 29 年度

平泉町教育委員会

教 育 長 岩 瀧 実

平泉文化遺産センター

所 長 及 川 司

主任主査（兼）高橋国博 補助員（臨時）千葉京子

主査文化財調査員 島原弘征 補助員（臨時）熊谷明美

主査文化財調査員 菅原計二 補助員（臨時）菊地道子

主査文化財調査員 鈴木江利子

主 事 那須駿也

文化財調査員 鈴木博之

平成 30 年度

平泉町教育委員会

教 育 長 岩 瀧 実

平泉文化遺産センター

所 長 及 川 司

所長補佐 高橋国博 補助員（臨時）千葉京子

主任主査文化財調査員 菅原計二 補助員（臨時）佐藤昌弘

主任主査文化財調査員 鈴木江利子 補助員（臨時）熊谷明美

主査文化財調査員 島原弘征 補助員（臨時）菊地道子

文化財調査員 鈴木博之

主 事 那須駿也

- 4 発掘調査・室内整理は鈴木博之が担当し、熊谷の協力を得た。
- 5 本書の執筆及び事務は鈴木博之が担当した。
- 6 調査の基準点打設は、第一航業（株）に業務委託した。平面直角座標 X 系に準拠し、測量成果は過去の図面と合成できるよう測地 2000 に変換して使用した。
- 7 土層観察の土色は「新版標準土色帳」（小山正忠・竹原秀雄 2001）によった。
- 8 調査成果の一部については、祇園 I 遺跡第 4 次発掘調査現地説明会、平成 30 年度平泉町内遺跡調査報告会等で公表している。上記と内容と異なる場合は本書が優先する。
- 9 発掘調査及び室内整理にあたっては、次の方々ならびに機関からご指導とご協力を賜った（順不同・敬称略）
岩手県教育委員会、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、東日本高速道路（株）東北支社北上事務所
- 10 出土遺物及び写真・図面等の調査に関わる資料は平泉町教育委員会が保管している。
- 11 発掘調査参加者（順不同・敬称略）
阿部俊春、石川巖覺、大石しずえ、及川勝、小野寺啓悦、小野寺富子、小野寺友子、木崎馨、熊谷明美、小岩佳え、小松代方代、佐々木利雄、佐々木直久、佐藤潔、佐藤参、佐藤正一、佐藤正志、佐藤昌弘、菅原聡、菅原静香、田村功、千條あえ子、千田美代子、千葉一郎、千葉景郷、千葉セツ子、千葉見久、千葉光春、千葉みよ子、千葉義男、真山宗雄、矢崎木綿子、吉田和子

目 次

I 位置と環境	1	III 調査成果	3
II 調査概要	3	1 祇園 I 道跡第 3 次調査	3
1 祇園 I 道跡第 3 次調査	3	2 祇園 I 道跡第 4 次調査	21
2 祇園 I 道跡第 4 次調査	3	IV 自然科学分析	52
3 基本土層	3	V まとめ	56

表 目 次

表 1 第 3 次調査トレンチ一覧	5	表 17 国産陶器観察表 (1) (第 4 次)	45
表 2 第 3 次調査遺構観察表	7	表 18 国産陶器観察表 (2) (第 4 次)	46
表 3 かわけ観察表 (第 3 次)	18	表 19 国産陶器観察表 (3) (第 4 次)	47
表 4 国産陶器観察表 (1) (第 3 次)	18	表 20 中国産磁器観察表 (第 4 次)	48
表 5 国産陶器観察表 (2) (第 3 次)	19	表 21 須恵器観察表 (第 4 次)	48
表 6 中国産磁器観察表 (第 3 次)	19	表 22 瓦質土器観察表 (第 4 次)	48
表 7 須恵器観察表 (第 3 次)	19	表 23 瓦観察表 (第 4 次)	48
表 8 瓦観察表 (第 3 次)	19	表 24 土壁観察表 (第 4 次)	49
表 9 土壁観察表 (第 3 次)	19	表 25 羽口観察表 (第 4 次)	49
表 10 鉄製品観察表 (第 3 次)	20	表 26 鉄製品観察表 (第 4 次)	49
表 11 鉄滓観察表 (第 3 次)	20	表 27 鉄滓観察表 (第 4 次)	49
表 12 木製品観察表 (第 3 次)	20	表 28 木製品観察表 (第 4 次)	50
表 13 石製品観察表 (第 3 次)	20	表 29 石製品観察表 (第 4 次)	50
表 14 種子観察表 (第 3 次)	20	表 30 石器観察表 (第 4 次)	50
表 15 かわけ観察表 (1) (第 4 次)	44	表 31 種子観察表 (第 4 次)	51
表 16 かわけ観察表 (2) (第 4 次)	45		

図 版 目 次

第 1 図 平泉町の位置	1	第 19 図 第 4 次調査 2 号溝、6 号土坑	28
第 2 図 道跡位置図	2	第 20 図 第 4 次調査 5～8 号溝	29
第 3 図 調査区位置図	2	第 21 図 第 4 次調査 1 号井戸、2～5、7～9 号 土坑、柱穴	30
第 4 図 第 3 次調査トレンチ配置図	4	第 22 図 第 4 次調査柱穴	31
第 5 図 第 3 次調査 1・2 トレンチ	8	第 23 図 第 4 次調査 4 号掘立柱建物跡、10 号溝 プラン図	32
第 6 図 第 3 次調査 3 トレンチ	9	第 24 図 出土遺物 (1) (第 4 次)	33
第 7 図 第 3 次調査 4 トレンチ	10	第 25 図 出土遺物 (2) (第 4 次)	34
第 8 図 第 3 次調査 5～11 トレンチ	11	第 26 図 出土遺物 (3) (第 4 次)	35
第 9 図 第 3 次調査 12～14、16～19 トレンチ	12	第 27 図 出土遺物 (4) (第 4 次)	36
第 10 図 第 3 次調査 20～24 トレンチ	13	第 28 図 出土遺物 (5) (第 4 次)	37
第 11 図 出土遺物 (1) (第 3 次)	14	第 29 図 出土遺物 (6) (第 4 次)	38
第 12 図 出土遺物 (2) (第 3 次)	15	第 30 図 出土遺物 (7) (第 4 次)	39
第 13 図 出土遺物 (3) (第 3 次)	16	第 31 図 出土遺物 (8) (第 4 次)	40
第 14 図 出土遺物 (4) (第 3 次)	17	第 32 図 出土遺物 (9) (第 4 次)	41
第 15 図 第 4 次調査 A 区・C 区全体図	22	第 33 図 出土遺物 (10) (第 4 次)	42
第 16 図 第 4 次調査 B 区全体図	23	第 34 図 出土遺物 (11) (第 4 次)	43
第 17 図 第 4 次調査 1～3 号掘立柱建物跡	26		
第 18 図 第 4 次調査 1・3・4 号溝、1 号土坑	27		

写真図版目次

写真図版1	第3次調査(1)	57	写真図版11	第4次調査(4)	67
写真図版2	第3次調査(2)	58	写真図版12	第4次調査(5)	68
写真図版3	第3次調査(3)	59	写真図版13	第4次調査(6)	69
写真図版4	第3次調査(4)	60	写真図版14	第4次調査(7)	70
写真図版5	出土遺物(1)(第3次)	61	写真図版15	第4次調査(8)	71
写真図版6	出土遺物(2)(第3次)	62	写真図版16	出土遺物(1)(第4次)	72
写真図版7	出土遺物(3)(第3次)	63	写真図版17	出土遺物(2)(第4次)	73
写真図版8	第4次調査(1)	64	写真図版18	出土遺物(3)(第4次)	74
写真図版9	第4次調査(2)	65	写真図版19	出土遺物(4)(第4次)	75
写真図版10	第4次調査(3)	66	写真図版20	出土遺物(5)(第4次)	76

I 位置と環境

祇園Ⅰ遺跡はJR平泉駅の南約1.5kmに位置し、平泉字祇園と字佐野原に所在する。祇園地区は北上川の西岸約1.4kmの地点にあたり、北上川の支流である太田川と小金沢川に挟まれた沖積台地に立地している。祇園Ⅰ遺跡の現状は水田が大半を占めているが、昭和40年代の圃場整備により、遺跡の大部分は削平を受けているものと思われる。標高は23m前後である。

本遺跡の北に隣接する祇園Ⅱ遺跡には特別史跡毛越寺附鎮守社跡の飛地である八坂神社が、北東に位置する三日町Ⅲ遺跡には同じく王子社跡が所在する。これら両飛地は、鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』に平泉の南方鎮守として記された祇園社と王子諸社の比定地である。現在、王子社跡の建物は残っておらず、付近には地域で「ハッシュウジンサマ」と呼ばれる小さな祠が祀られているのみであるが、『平泉村安永風土記』の記述によれば、長さ五尺、横四尺の社が近世には存在したようである。

八坂神社と王子社跡の中間部分では、平成13年度の三日町Ⅲ遺跡第1次調査により2条の溝跡が検出されており、これらは王子社跡付近から八坂神社の参道方面へ延びる道路跡の側溝と考えられる。(平泉町教育委員会2002以下、町教委と略す。)

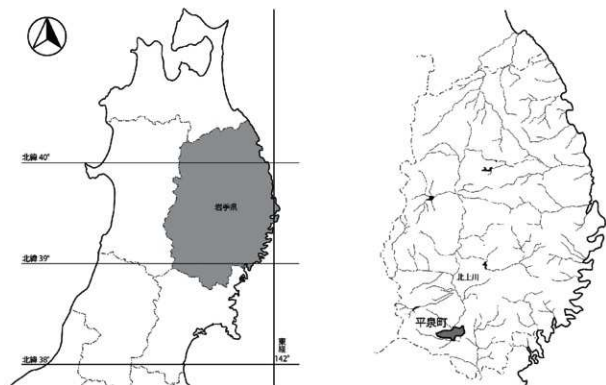
祇園Ⅰ遺跡においては、遺跡の東端で平成6年度に第1次調査を行っている。同調査では、いずれも12世紀代とみられる掘立柱建物跡や門跡、土坑等が検出されているが、中でも、掘方の直径が1.1m～1.3m、深さ約1mの柱穴で構成される三間四面以上の規模をもつ大型の掘立柱建物跡は特筆される成果である(町教委1995)。また、祇園Ⅱ遺跡においては第7次調査において12世紀の四面庇建物跡が検出されるなど(町教委2012)、遺構の分布密度は低いものの平泉の広がりを考えるうえで重要な地域と言える。

参考文献

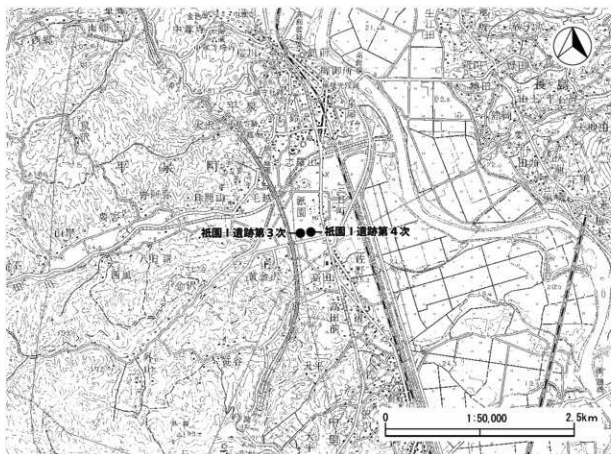
平泉町教育委員会 1995 平泉遺跡群発掘調査報告書 岩手県平泉町文化財調査報告書第47集

平泉町教育委員会 2002 平泉遺跡群発掘調査略報 岩手県平泉町文化財調査報告書第78集

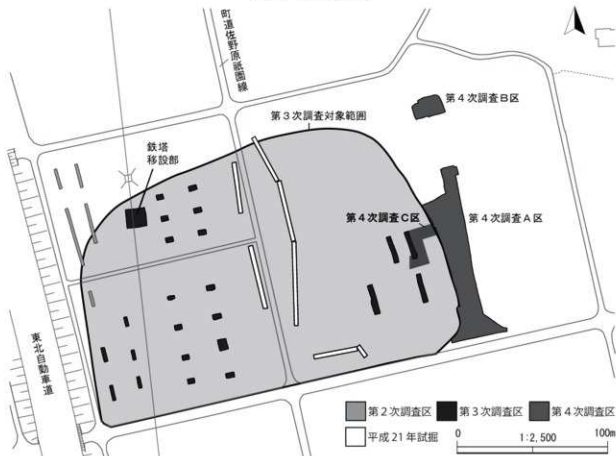
平泉町教育委員会 2012 平泉遺跡群発掘調査報告書 岩手県平泉町文化財調査報告書第118集



第1図 平泉町の位置



第2図 遺跡位置図



第3図 調査区位置図

II 調査概要

1. 祇園I遺跡第3次調査(第3図)

祇園I遺跡第3次調査は、平泉SICに隣接する駐車場整備に伴い平成29年度に実施した試掘調査である。事業対象面積は約31,000㎡であるが、このうち、町道佐野原祇園線沿いについては平成21年度に試掘調査を行っていること、また、東北自動車道沿いについては平成27年度に実施した祇園I遺跡第2次調査の範囲に含まれていることから除外し、本調査においては約17,500㎡を対象とした。また、本事業に伴う鉄塔の移設箇所の試掘(100㎡)を併せて行った。

調査は、掘削が遺構面に及ばない事及び遺構が希薄であることから、トレンチを24本設定し、重機で地山まで掘削した後、人力で精査を行った。

検出遺構は、溝跡15条、井戸跡1基、土坑2基、柱穴31個である。遺構・遺物は調査区の東側に集中してみられ、西側の東北自動車道寄りでは少ない傾向がみられる。

2. 祇園I遺跡第4次調査(第3図)

祇園I遺跡第4次調査は、町道祇園線から平泉SICの料金徴収施設の間を調査区とし、平泉町教育委員会が平成30年度に発掘調査を実施した。調査面積は1,900㎡である。

調査は重機により地山まで掘削し、人力で精査を行った。検出遺構は完掘し、記録した。また、3次調査区と4次調査区の境界付近で掘削が伴う箇所については工事立会を行い、検出した遺構は精査し、記録を取った。なお、3次調査2・4トレンチ周辺は、遺構面より下に掘削が及ばないものの掘立柱建物跡が検出されたことから、工事立会に併せて遺構検出を行い建物位置の記録を取った。

検出遺構は、掘立柱建物跡4棟、溝跡10条、井戸跡1基、土坑9基、柱穴62個である。全てV層上面で検出した。遺構の分布状況は疎らであるが、調査区(A区)の中央からやや北寄りに比較的集中している。遺物は調査区中央部の2号溝から多く出土している。

なお、料金徴収施設から東北自動車道本線間については、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下、県埋文とする。)が同年に発掘調査を実施しており、「平成30年度発掘調査報告書」(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第708集)で報告されている。

3. 基本土層

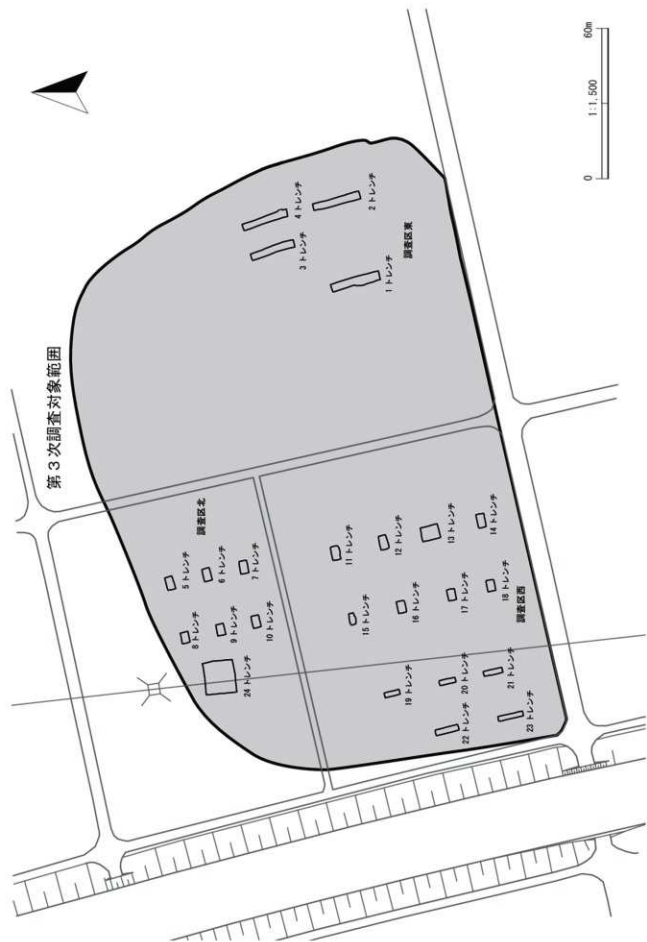
第3次調査と第4次調査は調査区が隣接しており、堆積状況も同様であることから併せて記載する。

- I. 10YR5/2灰黄褐粘土 水田耕作土(表土)
- II. 2.5GY5/1オリーブ灰粘土 粘性強 しまりやや密 水田耕作土(床土)
- III a. 5YR4/1灰粘土 粘性強 しまり密
- III b. 5YR4/1灰粘土 粘性強 しまり密 III a層に地山ブロック多く混入
- IV. 2.5Y4/1黄灰粘土 粘性強 しまり密 地山ブロックと炭化物若干含む遺物包含層(12世紀か)
- V. 2.5Y6/6明黄褐粘土 粘性強 しまり密 地山

III 調査成果

1. 祇園I遺跡第3次調査

(1) 検出遺構 溝跡15条、井戸跡1基、土坑2基、柱穴31個を検出した。各トレンチの概要は表1のとおりである。以下、検出遺構について記載する。



第4図 第3次調査トレンチ配置図

表1 第3次調査トレンチ一覧

	位置	大きさ (m)	標高 (m)	検出遺構	出土遺物	基本層序・層厚
T1	調査区東	20×3	24.0	柱穴 (P30)	かわらけ、近現代陶磁器	-
T2	調査区東	19×3	23.9	溝跡2条、柱穴15個 (P1-12, 14, 16, 17)	かわらけ、国産陶器、中国産磁器、須恵器、近現代磁器、瓦、土壘、石製品、石器片、種子	I層22cm, II層13cm
T3	調査区東	18×3	23.5	溝跡2条、井戸跡1基、土坑1基、柱穴3個 (P29, 32, 33)	かわらけ、国産陶器、中国産磁器、土師器、土壘、鉄滓、砥石、種子	I層30cm, II層12cm, III層13cm
T4	調査区東	18×3	23.5~23.7	溝跡3条、土坑1基、柱穴11個 (P18~28)	かわらけ、国産陶器、中国産磁器、土師器、瓦、土壘、鉄滓、砥石、木製品、砥石、石製品、石器片、種子	I層28cm, II層22cm
T5	調査区北	5.5×3	23.6	溝跡1条 (近現代)	なし	I層24cm, II層13cm
T6	調査区北	5×3	23.6	なし	なし	I層21cm, II層20cm
T7	調査区北	5×3	23.4	なし	なし	I層23cm, II層29cm, III層21cm
T8	調査区北	4.5×3	23.7	溝跡1条 (近現代)	近世~近代陶器	I層30cm
T9	調査区北	4.5×3	23.8	溝跡1条 (近現代)	なし	I層20cm, II層10cm
T10	調査区北	5×3	23.8	溝跡1条 (近現代)、柱穴 (P31)	なし	I層25cm
T11	調査区西	5.5×3	23.4	攪乱1ヶ所	なし	I層14cm, II層43cm, III層33cm
T12	調査区西	5.5×3.5	23.8	なし	なし	I層18cm, II層19cm
T13	調査区西	7×5.5	23.8	攪乱1ヶ所	なし	I層20cm, II層33cm
T14	調査区西	5.5×3	24.0	溝跡1条 (近現代)	なし	I層16cm, II層21cm
T15	調査区西	4.5×2.5		壁面崩落により記録なし		-
T16	調査区西	5×3.5	23.6	なし	なし	I層23cm, II層24cm, III層22cm, IIIb層26cm
T17	調査区西	4.5×3	23.8	溝跡2 (近現代)	なし	I層16cm, II層17cm, III層23cm
T18	調査区西	4.5×3	24.0	なし	なし	I層15cm, II層19cm, III層21cm
T19	調査区西	6×2	24.2	なし	なし	I層16cm, II層14cm, III層25cm
T20	調査区西	6.5×2	24.0	溝跡1条 (近現代)	なし	I層23cm, II層18cm, III層35cm
T21	調査区西	7.5×2	24.2	なし	なし	I層25cm, II層21cm, III層23cm
T22	調査区西	9.5×2.5	24.3	風倒木か	なし	I層22cm, II層16cm
T23	調査区西	10×2	24.5	なし	なし	I層20cm
T24	調査区北	12.4×13.4	24.0	なし	なし	-

溝跡：15条検出した。このうち、調査区北と西で検出した8条と3トレンチ2号溝は埋土の状態から圃場整備以前の水田に伴う水路と考えられる。それ以外の溝跡の概要は表2に記した。

2トレンチ1号溝(第5図・写真図版1)：トレンチの南端で一部を検出した。軸方向は東-西である。検出面からの深さは52cmで、断面形は逆台形を呈するものと思われる。埋土は、上層が地山ブロックを多く含む灰粘土主体であり、下層は炭化物を含む黒褐粘土主体である。後述する3トレンチ1号溝及び第4次調査1号溝と同一の溝跡の可能性ある。遺物は中~下層からかわらけ(1)、木片、種子が出土している。出土遺物から12世紀の遺構と考えられる。

2トレンチ2号溝(第5図)：トレンチ中央で検出した。軸方向は東-西である。検出面からの深さは12cmで、断面形は皿形を呈する。埋土は、炭化物を含む灰黄粘土主体である。かわらけと種子が出土している。出土遺物から12世紀の遺構と考えられる。

3トレンチ1号溝(第6図・写真図版2)：トレンチ南端で検出した。軸方向は北-南である。検出面からの深さは54cmで、断面形は逆台形を呈するものと思われる。埋土は上層が地山ブロックを含む黄灰粘土主体、下層は炭化物を含む灰粘土主体である。埋土の状態から2トレンチ1号溝及び第4次調査1号溝と同一遺構の可能性ある。遺物は下層からかわらけと種子が出土している。出土遺物から12世紀代と考えられる。

3 トレンチ 2 号溝 (第 6 図) : トレンチ北端で検出した。軸方向は北 - 南である。検出面からの深さは 6cm 前後である。3 トレンチの北側に延びる。断面形は U 字型を呈する。埋土は暗褐色粘土主体である。遺物包含層を掘り込んでおり、近現代の溝の可能性はある。遺物は出土していない。

4 トレンチ 1 号溝 (第 7 号・写真図版 2) : 幅 3.5m を測る規模の大きなものである。4 トレンチを東西に横断する形で検出し、トレンチ西壁に沿ったサブトレンチで堆積状況と断面形を確認した。検出面からの深さは 112cm で、北側に段を有する逆台形の断面形である。埋土は、上層が地山ブロックを多く含む灰～黄灰粘土主体であり、遺物が多く混入する。下層は緑灰色主体のグライ化した粘土が主体となる。後述する第 4 次調査 2 号溝と同一遺構である。遺物はかわらけ (4-14)、国産陶器 (常滑、渥美・26～34)、平瓦 (4)、土壁、漆器 (6)、木製品、砥石、板石、種子が出土している。このうち、国産陶器の渥美甕 (27)、常滑甕 (70) は、第 4 次調査 2 号溝から出土したものと接合する。出土遺物から 12 世紀の遺構と考えられる。

4 トレンチ 2 号溝 (第 7 図) : 1 号溝の北側に位置し、軸方向は北西 - 南東である。1 号溝よりも古いものと考えられる。検出面からの深さは 18cm で、断面形は皿型を呈する。埋土は、地山ブロックを若干含む暗灰黄粘土主体である。12 世紀以前の遺構と考えられる。

4 トレンチ 3 号溝 (第 7 図) : 4 トレンチ北端に位置する。軸方向は東 - 西である。検出面からの深さは 7cm で、断面形は逆台形を呈する。埋土は地山ブロックを含む暗灰黄粘土主体である。遺物は出土しておらず、時期は不明である。

井戸跡 (第 6 図・写真図版 1) : 3 トレンチ北半で約半分を検出した。トレンチの西壁に沿ってサブトレンチを設け、掘削した。底面は確認していない。開口部径は 3.3m で、平面形は隅丸の多角形もしくは不整形を呈するものと考えられる。検出面からの深さは 2m 以上で、断面形は逆台形を呈するものと思われる。埋土は、上層は地山ブロックが混入する黄灰～灰粘土主体で、水田層からの酸化鉄分を含む。中層以下は黒～オリーブ黒粘土主体の堆積土で湧水がある。遺物はかわらけ (2)、国産陶器 (常滑、渥美・5～21)、中国産磁器 (3)、瓦、土壁、鉄滓、砥石、加工石が出土している。このうち、国産陶器の渥美産壺は第 4 次調査 1 号土坑から出土したものと (129) と接合する。出土遺物から 12 世紀の遺構と考えられる。

土坑 : 2 基検出した。

3 トレンチ土坑 (第 6 図・写真図版 1) : トレンチ中央部で 1/3 程度を検出した。全容は不明であるが、開口部径は 3m 以上で、平面形は円形を呈するものと考えられる。上部は掘鉢状に掘り込まれており、今回の調査において底面は確認していない。埋土は全体的に拳大の地山ブロックが混入する灰～黄灰褐色粘土で、上層には酸化鉄分を含む。井戸跡の可能性もある。かわらけが出土しているが掲載はしていない。

4 トレンチ土坑 (第 7 図・写真図版 2) : トレンチの南東部で検出した。開口部径は 80×75cm で平面形は円形を呈する。深さは 54cm で断面形は U 字形を呈するが、底面は中央が東西方向の溝状に窪む。埋土は地山ブロックと炭化物を多く含む灰黄褐色粘土で、人為堆積と考えられる。埋土には遺物が多く混入しているが、土坑が廃棄される際に一括で埋まったものと考えられる。かわらけ (15～17)、国産陶器 (常滑・35～37)、土壁、鉄製品、鉄滓、石器、種子が出土している。出土遺物から 12 世紀の遺構である。

柱穴 : 31 個検出した。1 トレンチ 1 個 (第 5 図)、2 トレンチ 15 個 (第 5 図)、3 トレンチ 3 個 (第 6 図)、4 トレンチ 11 個 (第 7 図)、10 トレンチ 1 個 (第 8 図) である。2 トレンチと 3 トレンチに集中している。規模は掘方の径が 20～40cm のものが多く、深さは 10～25cm 程度のもが多いが、70cm 前後のものもみられる。また、P 19、P 22、P 26 には柱根が残存していた。なお、4 トレンチの P18

とP19は第4次調査の4号掘立柱建物跡を構成する柱穴として再検出している。詳細は表2のとおりである。

(2) 出土遺物

かわらけ、国産陶器、中国産磁器、須恵器、瓦、土壁、鉄製品、鉄滓、木製品、石製品、種子が出土している。かわらけはコンテナ(534×348×120mm)1箱出土し、21点を掲載した。17点は手づくねかわらけ、4点は内折れかわらけである。4トレンチ1号溝から多く出土している。国産陶器は69点出土しており、種類ごとの内訳は、常滑産40点、瀬美産28点、須恵器系1点である。器種は甕が主体で、鉢と壺が若干出土している。このうち29点を図示した。主な出土地点は3トレンチ井戸跡、4トレンチ1号溝及び包含層である。中国産磁器は5点出土しており、内訳は白磁壺3点、白磁皿1点、青磁碗1点である。白磁壺2点と白磁皿1点を掲載した。須恵器は甕の胴部片1点が出土している。内外面にハケメ調整がみられる。瓦は7点出土しており、平瓦が5点、種別不明が2点である。このうち平瓦2点を掲載した。木製品では漆器や下駄歯、加工木が出土しているほか、一部の柱穴からは柱根が出土した。このほか、土壁13点(総重量392.2g)、用途不明の鉄製品1点、鉄滓96.5g、砥石3点、胡桃や桃を中心とした種子類が出土している。

表2 第3次調査遺構観察表

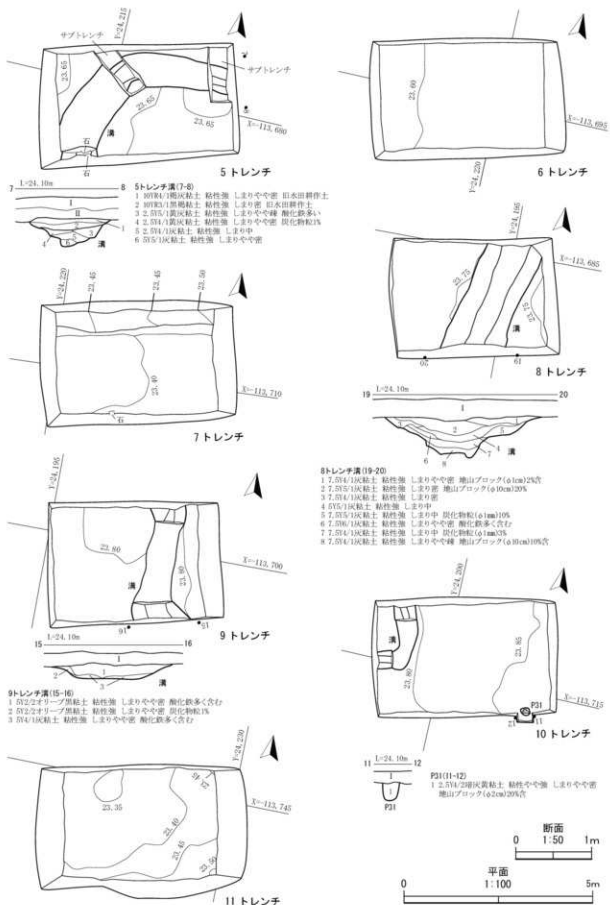
溝跡

遺構名	検出延長(m)	幅(m)	断面形	深さ(cm)	方位	検出面標高(m)	底面標高(m)	備考
2トレンチ1号溝	2.67	(1.17)	逆台形	52	東-西	23.937	23.418	
2トレンチ2号溝	1.45	0.37	皿形	12	東-西	23.814	23.691	
3トレンチ1号溝	4.0	0.87	逆台形	54	北-南	23.793	23.251	
3トレンチ2号溝	2.21	0.35	U字形	8	北-南	23.524	23.440	
4トレンチ1号溝	1.70	4.14	逆台形	112	東-西	23.507	22.386	4次調査2号溝
4トレンチ2号溝	2.50	0.24	皿形	18	北西-南東	23.510	23.327	
4トレンチ3号溝	1.80	0.28	逆台形	7	東-西	23.531	23.457	

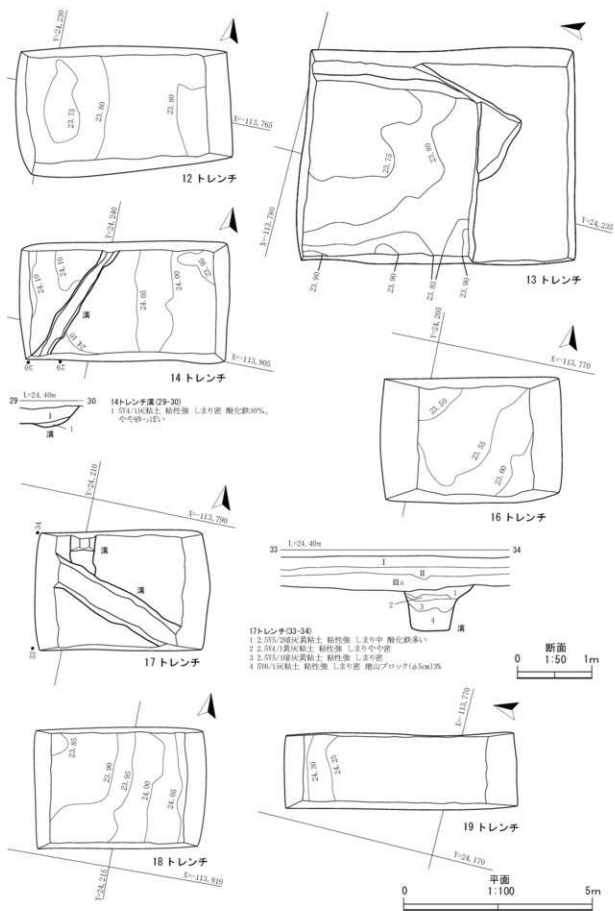
柱穴

	トレンチ	掘方(cm)	平面形	柱痕跡(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	備考
P1	T2	57×52	円形		11.5	23.735	
P2	T2	21×18	楕円形		9.0	23.756	
P3	T2	43×40	円形		7.5	23.763	
P4	T2	39×28	楕円形	20×10	10.8	23.734	
P5	T2	50×43	楕円形		23.8	23.615	
P6	T2	35×35	円形		18.6	23.664	
P7	T2	47×28	楕円形		11.4	23.730	
P8	T2	40×[35]	(円形)		12.5	23.717	
P9	T2	33×28	円形	18×16	16.6	23.678	
P10	T2	22×22	円形	13×9	7.6	23.750	
P11	T2	33×[22]	(円形)		7.2	23.113	
P12	T2	34×20	楕円形		10.8	23.732	
P14	T2	21×[16]	隅丸方形		9.5	23.730	
P16	T2	30×26	楕円形		44.1	23.400	
P17	T2	37×23	楕円形	15×13	14.8	23.690	
P18	T4	23×21	円形		25.1	23.472	第4次調査P48と同一か
P19	T4	46×28	楕円形		36.3	23.339	柱根残存 第4次調査P47と同一
P20	T4	22×18	楕円形		25.0	23.455	
P21	T4	52×37	楕円形		39.1	23.312	
P22	T4	40×40	円形		68.3	23.011	柱根残存
P23	T4	37×30	円形		21.1	23.422	
P24	T4	[47]×46	楕円形	23×18	18.5	23.440	
P25	T4	19×17	円形		14.4	23.498	
P26	T4	33×29	円形	15×15	42.0	23.158	柱根残存
P27	T4	20×20	円形		14.9	23.416	
P28	T4	[30]×17	楕円形		17.0	23.531	
P29	T3	20×15	円形		11.0	23.392	
P30	T1	29×26	円形		25.0	23.714	
P31	T10	28×23	円形		23.0	23.625	
P32	T3	25×20	円形		19.8	23.252	
P33	T3	25×21	円形	11×8	14.9	23.321	

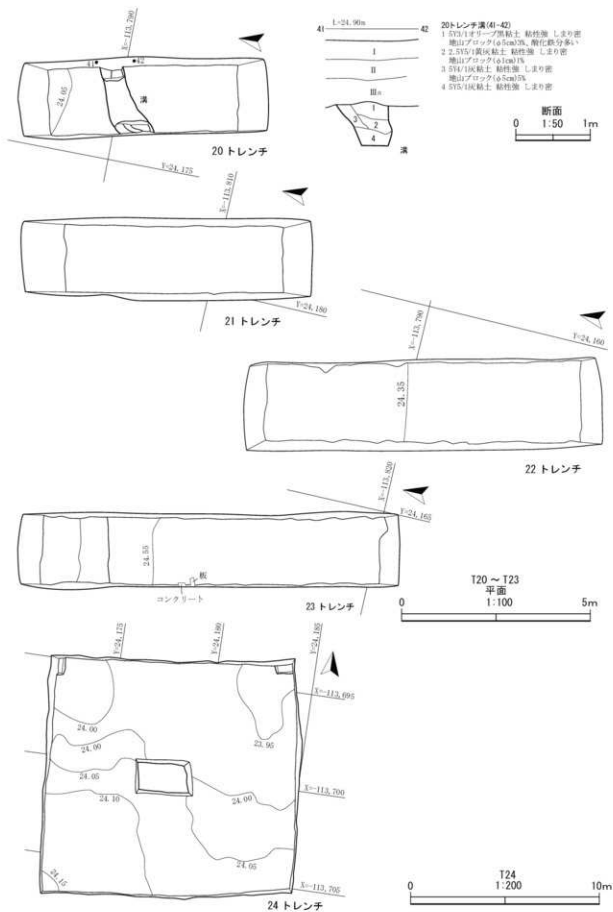
※ P 13、P 15は欠番



第8図 第3次調査5~11トレンチ

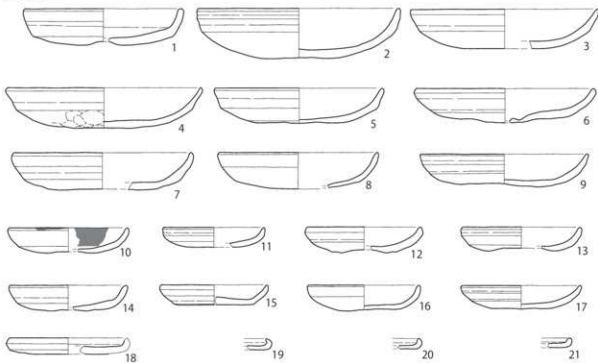


第9図 第3次調査12~14・16~19トレンチ

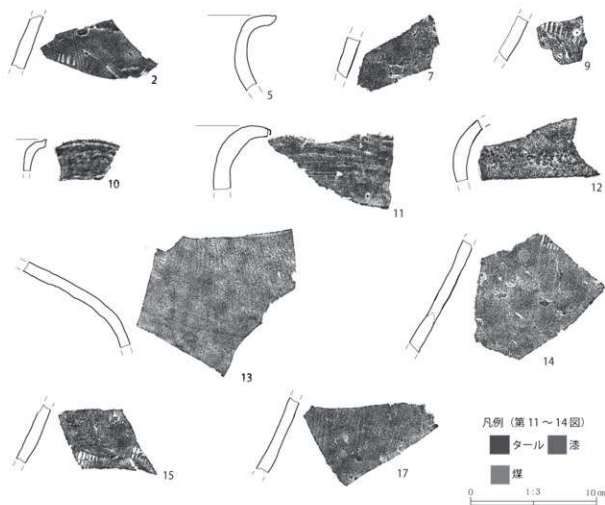


第10図 第3次調査20~24トレンチ

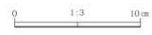
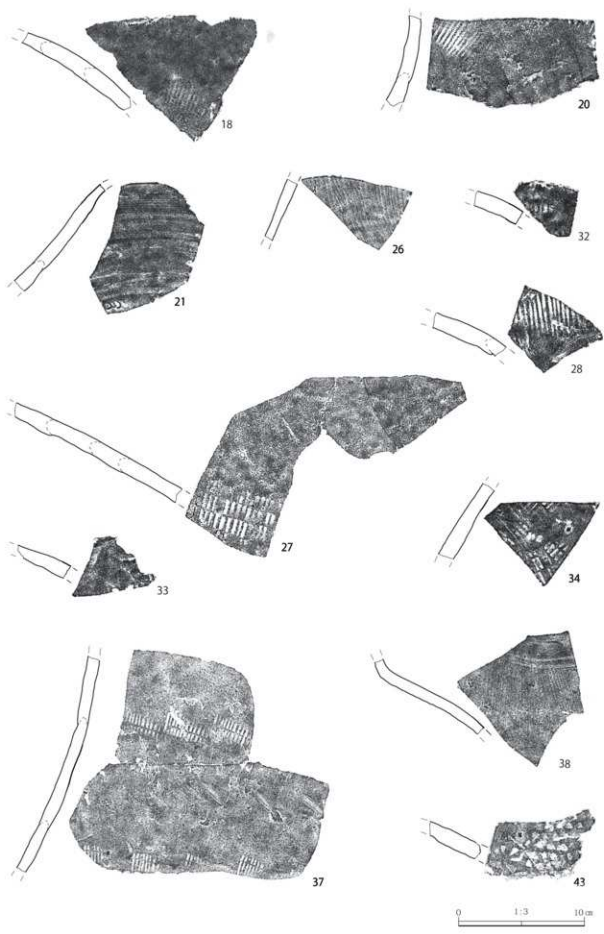
かわらけ



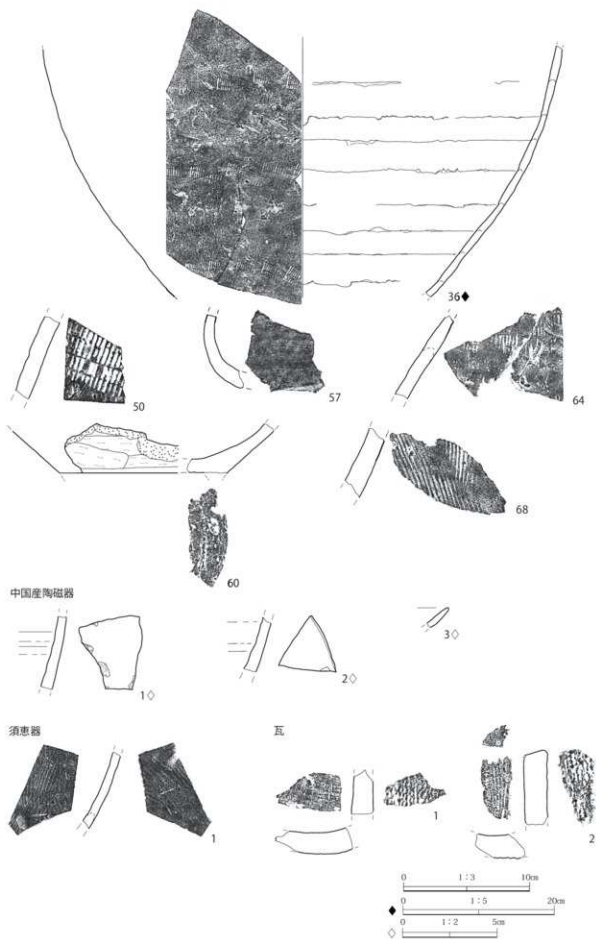
国産陶器



第11図 出土遺物(1)(第3次)

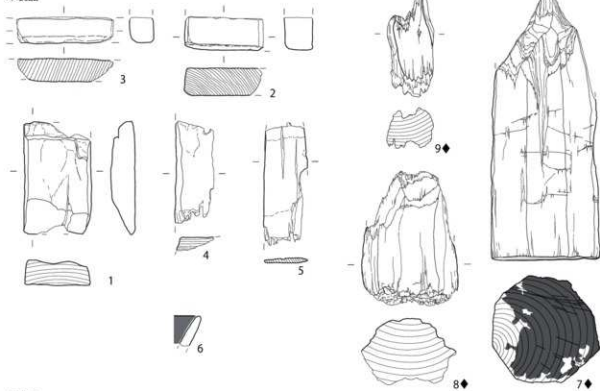


第12図 出土遺物(2)(第3次)

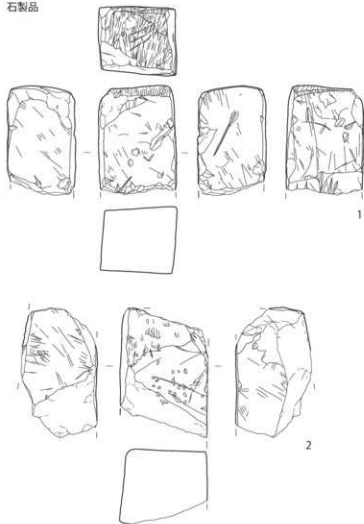


第13図 出土遺物(3)(第3次)

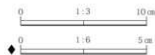
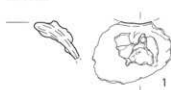
木製品



石製品



金属製品



第14図 出土遺物(4)(第3次)

表3 かわらけ観察表(第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			残存率 (%)	年代	備 考	登録No
					口径	底径	器高				
1	11	5	2トレンチ1号溝	手づくね大	(12.7)	-	2.8	20	12c		68.2
2	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	手づくね大	(16.2)	-	3.9	30	12c		40.1
3	11	5	3トレンチ包含層	手づくね大	(15.0)	-	-	30	12c	摩滅	25-11
4	11	5	4トレンチ1号溝 中～下層	手づくね大	(15.6)	-	3.2	30	12c	スノコ痕 指痕 爪痕	29.9
5	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね大	(13.5)	-	2.3-3.0	50	12c		26-13
6	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね大	(14.4)	-	-	30	12c		26-14
7	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね大	(14.4)	-	-	20	12c		26-15
8	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね大	(12.8)	-	-	20	12c	摩滅	26-16
9	11	5	4トレンチ土坑	手づくね大	13.4	-	2.4-2.8	60	12c	摩滅	50.47
10	11	5	4トレンチ1号溝 中～下層	手づくね小	(9.6)	-	2.0	30	12c	口縁に埋付着	29.10
11	11	5	4トレンチ1号溝 中～下層	手づくね小	(8.2)	-	1.6	20	12c		29.11
12	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね小	(9.3)	-	2.1	50	12c		26-17
13	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね小	(9.6)	-	1.5-1.9	30	12c		26-18
14	11	5	4トレンチ1号溝	手づくね小	(9.4)	-	2.0	30	12c		26-19
15	11	5	4トレンチ土坑 下層	手づくね小	(8.6)	-	1.6-1.7	30	12c		52-13
16	11	5	4トレンチ土坑	手づくね小	8.8-9.1	-	1.3-2.4	100	12c	摩滅 歪み	56
17	11	5	4トレンチ土坑	手づくね小	(9.6)	-	1.8-1.9	50	12c		51
18	11	5	3トレンチ井戸跡 上層	内折れ	(9.8)	-	1.0-1.4	30	12c	摩滅	38-16
19	11	5	4トレンチ包含層	内折れ	-	-	-	-	12c	小片	13-16
20	11	5	4トレンチ包含層	内折れ	-	-	-	-	12c	小片	12-26
21	11	5	4トレンチ包含層	内折れ	-	-	-	-	12c	小片	12-27

表4 国産陶器観察表(1)(第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備 考		登録No
1	-	-	2トレンチP4西側出土面	常滑	鉢	体部	12c			63
2	11	5	2トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c	25.27.32~34.50.51.4次12.28.57.58.76, 78.80.94.135.163.173と同一個体 押印		9.5
3	-	-	2トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c			9.6
4	-	-	2トレンチ包含層	渥美	鉢	体部	12c			9.7
5	11	5	3トレンチ井戸跡 上層	常滑	甕	口縁～胴部	12c			38-3
6	-	-	3トレンチ井戸跡 上層	常滑	甕	胴部	12c	14~16.36.37.40.44.67.147.160と同一個体		38-5
7	11	5	3トレンチ井戸跡 上層	常滑	甕	胴部	12c			38-6
8	-	-	3トレンチ井戸跡 上層	常滑	甕	胴部	12c			38-7
9	11	5	3トレンチ井戸跡 上層	常滑	甕	胴部	12c	押印 内面割離		38-8
10	11	5	3トレンチ井戸跡 上層	常滑	壺	口縁～胴部	12c			38-4
11	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	渥美	甕	口縁～胴部	12c	口唇部欠損		40.2
12	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	甕	胴部	12c			40.3
13	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	甕	肩部	12c	38.4次 23.88.149と同一個体		40-6
14	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	甕	胴部	12c	6と同一個体 外面に埋付着		40-9
15	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	甕	胴部	12c	6と同一個体 押印		40-10
16	-	-	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	甕	胴部	12c	6と同一個体		40-11
17	11	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	甕	胴部	12c	69と同一個体 傷口状調整痕		40.7
18	12	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	渥美	甕	肩部	12c	押印		40.4
19	-	-	3トレンチ井戸跡 中～下層	渥美	甕	肩部	12c			40.5
20	12	5	3トレンチ井戸跡 中～下層	渥美	甕	胴部	12c	押印		40.8
21	12	6	3トレンチ井戸跡 中～下層	常滑	鉢	口縁～体部	12c			40-12
22	-	-	3トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c			25.4
23	-	-	3トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c			25.5
24	-	-	3トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c			25.6
25	-	-	3トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c	2と同一個体		25-3
26	12	6	4トレンチ1号溝 中～下層	常滑	甕	胴部	12c	42次44.55.64.65.69.116.133と同一個体 傷口状調整痕		29.4
27	12	6	4トレンチ1号溝 中～下層	渥美	甕	肩部	12c	2と同一個体 押印 内面と断面に埋付着		29.2.4次221.2
28	12	6	4トレンチ1号溝 中～下層	渥美	甕	肩部	12c	4次 8.10.87と同一個体 押印		29.3
29	-	-	4トレンチ1号溝	常滑	甕	肩部	12c			26-3
30	-	-	4トレンチ1号溝	渥美	甕	胴～肩部	12c			26-2
31	-	-	4トレンチ1号溝	渥美	甕	肩部?	12c	細片		26-7
32	12	6	4トレンチ1号溝	渥美	甕	肩部	12c	2と同一個体 押印		26.4
33	12	6	4トレンチ1号溝	渥美	甕	肩部	12c	2と同一個体		26.5
34	12	6	4トレンチ1号溝	渥美	甕	胴部	12c	2と同一個体 押印 漆跡		26.6
35	-	-	4トレンチ土坑 上層	常滑	甕	口唇部	12c			47.2
36	13	6	4トレンチ土坑 下層	常滑	甕	胴部	12c	6と同一個体		52.2・3・7. 47.3, 48, 49, 64.1
37	12	6	4トレンチ土坑	常滑	甕	胴部	12c	6と同一個体 押印		52.6, 64.2
38	12	6	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴～肩部	12c	13と同一個体		12.2
39	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴～肩部	12c			12.4
40	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c	6と同一個体		12-12
41	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	肩部	12c			12.5
42	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	肩部	12c			12-16

表5 国産陶器観察表(2) (第3次)

No	国版	写図	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No
43	12	6	4トレンチ包含層	常滑	甕	肩部	12c	1b型式か・押印 断面擦痕	13-4
44	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c		12-7
45	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c		12-14
46	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c		12-15
47	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c		13-6
48	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	肩部	12c		12-13
49	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	肩部	12c		12-17
50	13	6	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c	2と同一個体 押印	12-6
51	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c	2と同一個体	12-10
52	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c		12-9
53	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c		12-11
54	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c		12-18
55	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c		13-5
56	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	-	12c	細片	13-8
57	13	6	4トレンチ包含層	渥美	壺	頸部	12c		12-3
58	-	-	4トレンチ包含層	常滑	鉢	体部	12c		12-8
59	-	-	4トレンチ包含層	常滑	鉢	体部	12c		12-19
60	13	6	4トレンチ包含層	常滑	鉢	体-底部	12c		13-3
61	-	-	4トレンチ包含層	渥美	鉢	体部	12c		11-2
62	-	-	4トレンチ包含層	渥美	鉢	体部	12c		13-7
63	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	肩部	12c		10-6
64	13	6	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c	押印	10-2, 47-4
65	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c		10-3
66	-	-	4トレンチ包含層	常滑	甕	胴部	12c		10-5
67	-	-	4トレンチ包含層	渥美	甕	胴部	12c		10-4
68	13	6	出土位置不明	須恵器系	甕	胴部	12c	押印	77-2
69	-	-	出土位置不明	常滑	甕	胴部	12c	17と同一個体	77-3

表6 中国産磁器観察表(第3次)

No	国版	写図	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No
1	13	7	2トレンチ包含層	白磁	壺	胴部	12c	Ⅱ系	9-2
2	13	7	2トレンチ包含層	白磁	壺	胴部	12c	Ⅱ系 漆喰擦痕	9-3
3	13	7	3トレンチ井戸跡 上層	白磁	皿	口縁部	12c	V類	38-2
4	-	-	3トレンチ包含層	白磁	壺	胴部	12c	Ⅱ系	25-2
5	-	-	4トレンチ包含層	青磁	碗	体部	12c		13-2

表7 須恵器観察表(第3次)

No	国版	写図	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No
1	13	7	2トレンチ包含層	須恵器	甕	胴部	平安	内外面ハケ目	9-8

表8 瓦観察表(第3次)

No	国版	写図	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量 (g)	備考	登録No
					長さ	幅	厚さ			
1	13	7	2トレンチ包含層	平瓦	<3.5>	<6.1>	1.7	35.5	凹面に布目 凸面に縄目	9-10
2	13	7	3トレンチ井戸跡 上層	平瓦	<5.9>	<4.0>	1.9	38.2	凹面に布目、離れ砂 凸面に縄目、離れ砂 産部にケズリ	38-9
3	-	-	3トレンチ井戸跡 上層	-	-	-	-	3.0	小片	38-10
4	-	-	4トレンチ1号溝 中～下層	平瓦	-	-	-	2.7	小片	29-5
5	-	-	4トレンチ包含層	平瓦	-	-	-	11.9	小片 凹面に剥離 凸面に縄目	11-3
6	-	-	4トレンチ包含層	-	-	-	-	0.9	小片	13-9
7	-	-	出土位置不明	平瓦	-	-	-	2.8	小片 凹面に剥離 凸面に縄目	77-4

表9 土壁観察表(第3次)

No	国版	写図	出土位置・層位	法 量 (cm)			重量 (g)	スヤの有無	備考	登録No
				長さ	幅	厚さ				
1	-	-	2トレンチ包含層	2.3	1.7	1.3	3.2	無		9-11
2	-	-	3トレンチ包含層	1.4~1.9	1.5~1.8	0.9~1.0	20.7	有		25-8
3	-	-	3トレンチ井戸跡 上層	0.7~5.4	0.6~3.7	0.4~2.8	204.0	有		38-11
4	-	-	3トレンチ井戸跡 中～下層	2.5~3.9	2.2~3.6	1.6~3.1	32.7	有		40-13
5	-	-	3トレンチ井戸跡 下層	1.2	1.2	0.7	0.9	無		45-2
6	-	-	4トレンチ1号溝	2.1~4.7	1.0~4.2	0.7~3.7	46.6	有		26-8
7	-	-	4トレンチ1号溝	1.4~3.0	1.3~1.4	1.1~1.3	6.1	有		27-2
8	-	-	4トレンチ土坑 下層	1.9~5.1	1.8~3.8	1.2~2.8	39.9	有		52-8
9	-	-	2トレンチPI	2.0	1.2	1.0	1.8	無		58-2
10	-	-	4トレンチ包含層	1.6~2.6	1.4~1.6	1.4~1.5	8.7	無		12-21
11	-	-	4トレンチ包含層	1.6~2.7	1.1~2.5	1.0~2.4	14.6	有		13-12
12	-	-	4トレンチ包含層	1.5	0.8	0.8	0.7	無		70-2
13	-	-	4トレンチ包含層	1.5~3.0	0.9~2.8	1.0~1.4	12.3	有		47-5

表10 鉄製品観察表 (第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量 (g)	備 考	登録No
					長さ	幅	厚さ			
1	14	-	4トレンチ土坑 上層		5.0	6.3	0.7	38.0	器状か用途不明	47-8

表11 鉄滓観察表 (第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	重量 (g)	組成	備考	登録No
1	-	-	3トレンチ井戸跡 上層	23.1	有		38-13
2	-	-	4トレンチ土坑 上層	64.8	有	炭泥じる	47-9
3	-	-	4トレンチ包含層	0.4	有		11-5
4	-	-	4トレンチ包含層	8.2	有		10-8

表12 木製品観察表 (第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			備考	登録No
					長さ	幅	厚さ		
1	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	加工木	9.0	5.3	2.0		30-6
2	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	下駄の歯	<2.5>	<6.2>	2.2	切り落とされた先端部	30-7
3	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	下駄の歯	<2.1>	<7.7>	1.8	切り落とされた先端部	30-8
4	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	加工木	<8.1>	<3.1>	<1.1>		30-9
5	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	板	<9.7>	3.4	0.4		30-10
6	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	漆器	-	-	-	小片2点 口縁部 内面に漆	30-11
7	14	7	4トレンチP19	柱根	<42.8>	17.2	17.0	八角形に面取り 底部にケール付着	62
8	14	7	4トレンチP22	柱根	<21.3>	15.2	<10.5>		74-2
9	14	7	4トレンチP26	柱根	<17.0>	<7.3>	<6.4>		76-1

表13 石製品観察表 (第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量 (g)	色 調	備 考	登録No
					長さ	幅	厚さ				
1	14	7	3トレンチ井戸跡 中～下層	砥石	<8.7>	6.2	5.3	392.0	2.5Y7/1灰白		40-15
2	14	7	4トレンチ1号溝 中～下層	砥石	<10.3>	6.0	6.0	484.5	2.5Y8/2灰白		29-8
3	-	-	4トレンチ包含層	砥石	<4.2>	3.3	1.5	15.2			13-10

表14 種子観察表 (第3次)

No	国取	写図	出土位置・層位	種類	備考	登録No
1	-	-	2トレンチ2号溝	種子	胡桃1点	60-2
2	-	-	2トレンチ1号溝	種子	松かさ1点	65-2
3	-	7	3トレンチ1号溝	種子	すもも24点	33
4	-	7	4トレンチ1号溝	種子	胡桃4点、桃4点、松かさ1点	27-4
5	-	-	4トレンチ1号溝 中～下層	種子	胡桃1点	29-7
6	-	7	4トレンチ1号溝 中～下層	種子	胡桃2点、桃12点、すもも1点	30-4
7	-	-	4トレンチ土坑 下層	種子	胡桃1点、桃2点	52-9

2. 祇園 I 遺跡第4次調査

当初の調査範囲をA区とし、岩手県教育委員会との協議により追加で調査範囲とした北側の範囲をB区、第3次調査区で立会調査を行った範囲のうち、遺構面より下に掘削が及ぶ箇所をC区として報告する。

(1) 検出遺構 掘立柱建物跡4棟、溝跡10条、井戸跡1基、土坑9基、柱穴62個を検出した。

掘立柱建物跡 (第17、23図・写真図版9、10): 4棟検出した。概ね西に2~10°傾く建物である。柱穴掘方の規模は概ね30cm前後のものが多い。2号掘立柱建物跡は東西方向が梁間の南北棟とみられる。また、4号掘立柱建物跡は南北の桁行3間以上、東西の梁間4間で東西二面に庇を持つ建物である。10号溝と重複しており本遺構が古い。また、2号溝北側の柱穴群も建物跡である可能性がある。遺物は1号掘立柱建物跡 (P21) から中国産白磁 (19、20) が出土している。なお、19は2号溝から出土したものと接合する。いずれも12世紀の遺構と考えられる。概要は一覧のとおりである。

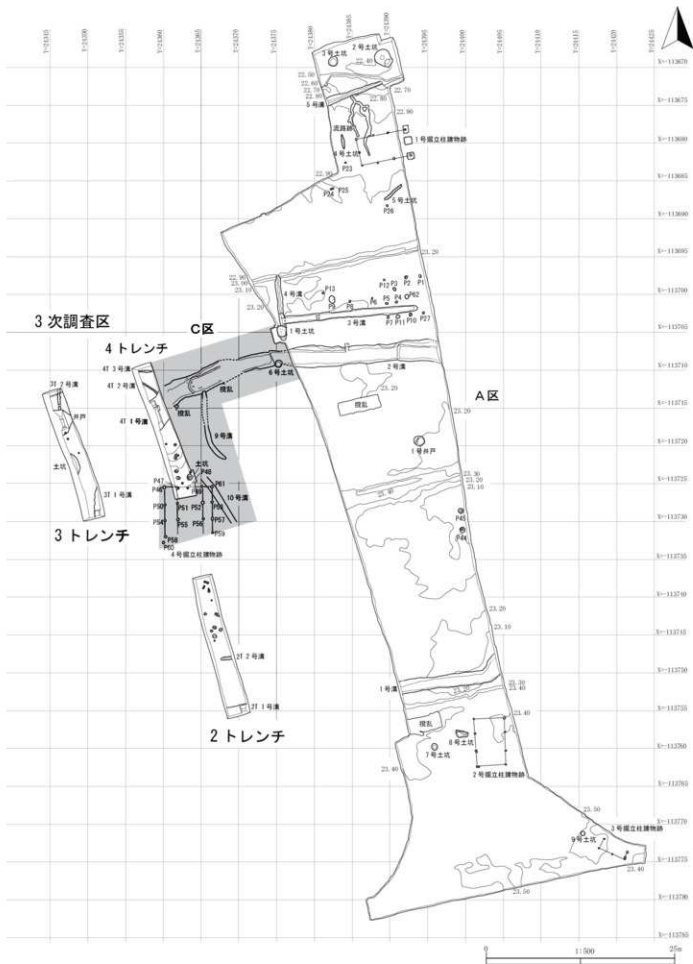
	位置	桁行		梁間		方位	柱穴 (P)	遺物	備考
		規模	柱間 (m)	規模	柱間 (m)				
SB1	A区	3間以上	2~2.2	2間	1.8	N40°-W	14~22	中国産磁器	
SB2	A区	3間	1.5~2.5	1間	4	N-S°-W	28~33,35,37	柱根 (P29)	南北棟
SB3	A区	2間	1~1.4	2間以上	1.8	N2°-E	38~42		
SB4	C区	3間以上	1.6~1.7	4間	2.1~2.3	N2°-W	46~59, 61	柱根 (P61)	南北棟 二面庇

溝跡 10条検出した。概要は下記一覧のとおりである。

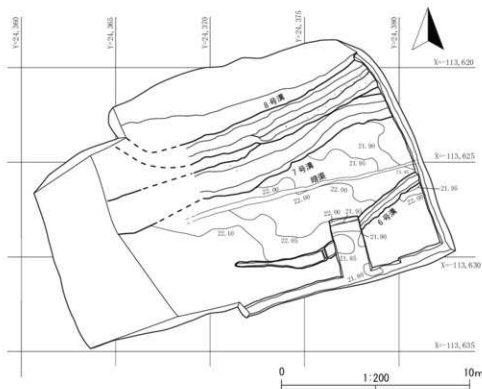
	位置	検出延長 (m)	幅 (m)	断面形	深さ (cm)	方位	検出面標高 (m)	底面標高 (m)
SD1	A区	13.12	1.7	隕形	11~13	東-西	23.036~23.233	22.898~22.972
SD2	A区	36.00	2.3~2.8	逆台形	27~76	東-西	23.209~23.276	22.481~22.953
SD3	A区	17.60	0.9~1.0	逆台形	15~30	東-西	23.158~23.246	23.094~22.924
SD4	A区	8.63	0.75	隕形	20~29	南-北	22.897~23.205	22.916~23.057
SD5	A区	7.52	0.5~1.0	逆台形	30~40	東北東-西南西	22.644~22.860	22.417~22.482
SD6	B区	11.10	0.3~0.8	隕形	11	南西-北東	22.068~22.133	22.008~22.114
SD7	B区	15.65	1.3~1.8	隕形	20~33	西南西-東北東	21.862~21.950	21.596~21.868
SD8	B区	14.45	1.0~1.5	隕形	35~40	西南西-東北東	21.862~21.950	21.545~21.575
SD9	C区	9.60	0.3~0.5	U字形	21~24	南-北	23.538~23.576	23.504~23.514
SD10	C区	6.80	0.5~0.7	逆台形	26~31	北西-南東	23.473~23.653	23.311~23.387

1号溝 (第18図・写真図版10): A区南寄りに位置する。検出面はV層上面である。検出位置と堆積土の様子から、第3次調査2トレンチで検出した1号溝と同一遺構の可能性が高い。埋土は灰~灰黄褐粘土主体の堆積土で下層に若干の砂が混じる。上層は水田耕作時の攪乱を受ける。遺物はかわらけ (1~3)、国産陶器 (1)、鉄製品、漆器を含む木製品 (1~4)、瓦、板石、種子が出土している。出土遺物から12世紀代の可能性がある。

2号溝 (第19図・写真図版11): A区北寄り及びC区に位置する。検出面はV層上面である。本遺構は第3次調査4トレンチの1号溝と同一遺構である。埋土は上層が褐灰~黒褐粘土主体、中~下層は地山ブロックが混入するオリブ黒粘土が主体である。自然堆積の様相を呈する。上層には遺物が多く混入する。底面はA区東半とC区に段を有している。A区ではY=24391m付近を境に東側が低く、比高差は50cmである。C区ではY=24364m~24375mの間が低くなっており、東側は20cm、西側は30cmの比高差である。また、北壁に段を1段有する。遺物はかわらけ、墨書かわらけ (「兵 奔王」) (13)、国産陶器 (2~90)、中国産磁器 (1~17)、土師器、須恵器 (1~5)、縄文土器、瓦質土器 (1)、瓦 (2~16)、羽口、土壁、土製品、鎌先 (鉄製品1)、鉄滓、石器片、砥石、碁石 (石製品4)、加工石、板石、漆器、的 (木製品27)、木製品、種子、貝殻が出土している。このうち、国産陶器 (渥美羹) と第3次調査の (27)、常滑羹 (70) と第3次調査4トレンチ1号溝から出土したもの、中国産白磁碗 (15) と5号溝出土のもの、白磁壺は1号掘立柱建物跡 (P21) の (19) とそれぞれ接合する。放射性炭素年代測定 (AMS) の結果、11世紀後半~12世紀代の値を得ており、出土遺物からも12世紀と考えられる。



第15図 第4次調査A区・C区全体図



第16図 第4次調査B区全体図

3号溝 (第18図・写真図版11、12) : A区北寄りに位置する。検出面はV層上面である。2号溝のすぐ北側で並行する形で検出した。4号溝、1号土坑と重複し、いずれよりも古い。埋土は上～中層が黒褐粘土主体、下層は灰～灰黄粘土主体で地山崩落土も見られる。上～中層で完形に近い手づくねかわらけが多く出土した。底面標高は東側が高く、比高差は約16cmである。遺物はかわらけ、国産陶器 (渥美・91～93)、瓦、鉄滓、石製品、石器片、木製品、種子が出土している。12世紀代と考えられる。

4号溝 (第18図・写真図版12) : A区北寄りに位置する。検出面はV層上面である。北側は圃場整備による水田の段差により削平されているものとみられる。3号溝、1号土坑と重複し、いずれよりも新しい。埋土は黒褐～褐灰粘土主体である。底面標高は南側が高く、比高差は約10cmである。遺物はかわらけ、国産陶器、縄文土器、土壁、種子が出土している。12世紀代と考えられる。

5号溝 (第20図・写真図版12) : A区北端部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は灰黄褐～にぶい黄褐粘土主体の堆積土である。底面標高は西側が若干高く、比高差は約3cmである。遺物はかわらけ、国産陶器 (渥美・99)、中国産磁器、軒平瓦 (18)、鉄製品、種子が出土している。このうち、中国産白磁碗は2号溝から出土した (15) と接合する。AMS年代測定の結果、概ね11世紀後半～12世紀代の値を得ており、出土遺物からも12世紀代と考えられる。

6号溝 (第20図・写真図版12) : B区南部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は灰粘土主体で酸化鉄を多く含む。底面標高は西側が高く、比高差は約11cmである。泉埋文の調査で検出された5号溝からつながるものである可能性が高い。遺物はかわらけ、国産陶器 (常滑・100～103)、土師器、土壁、鉄滓、石器が出土している。出土遺物から12世紀代の可能性がある。

7号溝 (第20図・写真図版13) : B区中央に位置する。検出面はV層上面である。北側の一部を8号溝に切られる。埋土は灰粘土とオリープ黒粘土を主体とした堆積土である。底面標高は西側が高く、

比高差は約20cmである。県埋文の調査で検出された1号溝からつながるものとみられる。遺物はかわらけ、国産陶器（常滑・104～106）、土師器、縄文土器、近現代陶磁器、石器片、種子が出土している。出土遺物から12世紀代の可能性はある。

8号溝（第20図・写真図版13）：B区に位置する。7号溝と並行する形で検出した。検出面はV層上面である。南側の一部で7号溝と重複し、これを切る。埋土は灰粘土主体で下層は砂質である。底面標高は西側が高く、比高差は約8cmである。県埋文の調査で検出された現代溝からつながるものとみられる。遺物はかわらけ、国産陶器（常滑・渥美・須恵器系・108～124）、中国産磁器（18）、近現代陶磁器、羽口、土製品（人形）、砥石、鉄滓、石器、木製品、木枕、貝殻、骨片、種子、ビニール、ガラス、針金、肥料袋が出土している。12世紀代の遺物は圃場整備の際に現代遺物と共に紛れ込んだものと思われる。昭和40年代以前の用水路である。

9号溝（第15図・第19図・写真図版13）：C区に位置する。検出面はV層上面である。2号溝と重複し、本遺構が古いか同時期と思われる。検出面からかわらけ（42～44）が出土している。一部のみ精査した。全容は不明であるが出土遺物から12世紀代と考えられる。

10号溝（第23図・写真図版13）：C区に位置する。検出面はV層上面である。かわらけと瓦（19・20）が出土している。4号掘立柱建物跡と重複し、本遺構が新しい。全容は不明であるが、出土遺物から12世紀代の可能性はある。

井戸跡 1基検出した。

1号井戸（第21図・写真図版13）：A区中央に位置する。検出面はV層上面である。平面形は開口部径が145×135cmの円形を呈する。断面形はピーカー形を呈し、検出面からの深さは213cmである。埋土は上層が黒褐粘土主体、中層が灰～灰オリブ粘土主体、下層がグライ化した青灰砂質粘土主体である。底面近くで一部がえぐられた木を確認したが、これは井戸を掘る際に削られたものと考えられ、地盤形成される際の自然木が腐食せずに残存したものである。遺物はかわらけ、国産陶器（常滑・125）、縄文土器、土壁、木製品、刀子（鉄製品3）、ひょうたん（木製品40）、種子が出土している。刀子は底面近くからの出土である。AMS年代測定により13世紀代の結果を得ているが、出土遺物から12世紀代の遺構と考えられる。

土坑 9基検出した。概要は一覧のとおりである。

	位置	径(m)	平面形	断面形	深さ(cm)	検出面標高(m)	底面標高(m)	遺物
SK1	A区	1.5×1.2	隅丸方形	ピーカー形	56	23.243	22.680	かわらけ、国産陶器、土壁、木枕、種子、石器
SK2	A区	2.4×2.1	楕圓形	V字形	109	22.435	21.349	かわらけ、国産陶器、中国産磁器、瓦、壺土、鉄滓、板石、漆器、種子
SK3	A区	1.4×1.2	円形	ピーカー形	62	22.461	21.840	なし
SK4	A区	1.9×0.4	溝形	逆台形	50	22.920	22.422	なし
SK5	A区	3×0.4	溝形	逆台形	42	22.882	22.466	なし
SK6	C区	0.9×0.8	円形	ピーカー形	36	22.767	23.126	かわらけ、種子
SK7	A区	1×0.8	円形	逆台形	81	23.450	22.639	瓦
SK8	A区	1.6×0.9	隅丸方形	逆台形	61	23.461	22.855	なし
SK9	A区	0.6×0.6	円形	ピーカー形	35	23.506	23.160	なし

1号土坑（第18図・写真図版13）：A区北寄りに位置する。検出面はV層上面である。4号溝・3号溝と重複し、4号溝より古く、3号溝より新しい。埋土は灰～オリブ黒粘土主体である。南西側の底面近くからは定形の手づねかわらけ（40）が正位で出土しているほか、径1～2cm程の木の枝が並ぶように出土している。国産陶器の渥美産壺（129）は、第3次調査3トレンチ井戸跡から出土したものと接合する。AMS年代測定の結果、概ね11世紀後半～12世紀代の値を得ており、出土遺物から12世紀と考えられる。

2号土坑(第21図・写真図版14): A区北端部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は灰～オリブ黒粘土主体で、灰色粘土がラミナ状に堆積している。ただし、中位の上と下で黒粘土がうすく層状に入る様相を呈する。南東部に突出部を持つ柄鏡状の平面形である。出土遺物から12世紀代と考えられる。

3号土坑(第21図・写真図版14): A区北端部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は灰粘土主体で埋土中位では地山崩落土が混入する。埋土の状況から12世紀の可能性はある。

4号土坑(第21図・写真図版14): A区北部に位置する。検出面はV層上面である。底面の南側がオーバーハンクしている。長軸方向はN-10°-Wである。埋土はにぶい黄褐～黄褐粘土を主体とした堆積土で、地山に似る。形状から縄文時代の陥し穴状遺構と考えられる。

5号土坑(第21図・写真図版14): A区北部に位置する。検出面はV層上面である。長軸方向はN-40°-Wである。埋土はにぶい黄～黄褐粘土を主体とした堆積土で、地山に似る。形状から縄文時代の陥し穴状遺構と考えられる。

6号土坑(第19図・写真図版15): C区に位置する。検出面はV層上面である。埋土は黒褐～黄灰粘土主体で地山ブロックがやや多く混入する。かわらけが出土しており、12世紀代と考えられる。

7号土坑(第21図・写真図版15): A区南部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は灰～オリブ黒粘土主体の堆積土で、全体的に地山ブロックが混入している。瓦(22)が出土しており12世紀代の可能性はある。

8号土坑(第21図・写真図版15): A区南部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は黄灰粘土主体である。詳細な時期は不明である。

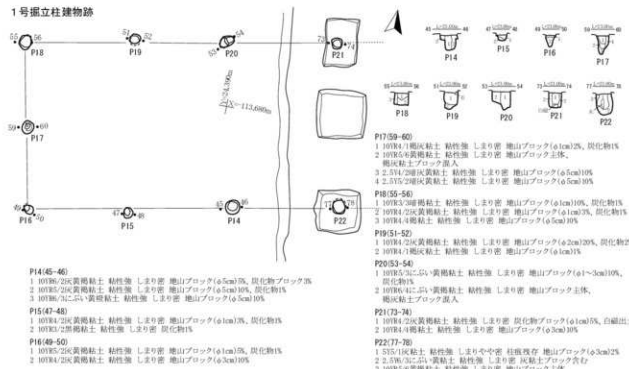
9号土坑(第21図・写真図版15): A区南端部に位置する。検出面はV層上面である。埋土は灰黄褐～暗灰黄褐粘土主体で、全体的に酸化鉄分が多い。詳細な時期は不明である。

柱穴 62個を検出した。大半の平面形は円形もしくは楕円形を呈し、検出面はV層上面である。2号溝北側に集中しているほか、A区南部で多く検出した。また、A区中央付近の東寄り掘方の径が70cm前後の規模の大きな柱穴を2個検出している。P46～61はC区での検出である。4号掘立柱建

柱穴	掘方(cm)	平面形	深さ(cm)	底面標高(m)
P1	42×30	楕円形	51.6	22.746
P2	48×37	円形	24.7	23.005
P3	5×035	楕円形	14.8	23.136
P4	33×30	円形	4.8	23.171
P5	41×24	楕円形	21.9	23.051
P6	23×17	楕円形	8.1	23.171
P7	35×29	円形	39.0	22.864
P8	27×21	楕円形	11.5	23.082
P9	103×77	楕円形	15.4	23.046
P10	47×37	楕円形	33.8	22.841
P11	49×39	楕円形	-	-
P12	27×25	楕円形	27.7	22.972
P13	30×24	楕円形	-	-
P14	31×31	円形	25.9	22.676
P15	23×20	円形	12.7	22.812
P16	21×19	円形	22.3	22.705
P17	29×25	円形	32.7	22.591
P18	32×25	円形	24.5	22.668
P19	23×20	円形	31.3	22.620
P20	31×16	楕円形	26.0	22.676
P21	26×22	円形	25.4	22.657
P22	30×27	隅丸方形	35.2	22.555
P23	25×18	円形	16.1	22.755
P24	23×21	円形	16.5	22.750
P25	28×25	円形	11.5	22.800
P26	28×27	円形	57.2	22.266
P27	21×26	隅丸方形	32.5	22.897
P28	29×28	隅丸方形	20.6	23.180
P29	20×17	円形	21.4	23.205
P30	23×17	円形	16.4	23.263
P31	23×20	円形	16.6	23.275

柱穴	掘方(cm)	平面形	深さ(cm)	底面標高(m)
P32	27×17	楕円形	13.9	23.325
P33	28×22	円形	17.0	23.286
P34	28×20	円形	3.3	23.421
P35	26×25	円形	29.3	23.165
P36	(22)×22	円形	18.6	23.282
P37	28×25	円形	15.5	23.320
P38	19×19	円形	17.8	23.331
P39	28×14	楕円形	8.1	23.415
P40	24×21	円形	28.2	23.183
P41	31×27	円形	40.5	23.042
P42	21×(17)	隅丸方形	38.7	23.031
P43	32×28	円形	33.6	23.099
P44	74×70	円形	38.3	22.734
P45	68×67	円形	41.1	22.694
P46	42×40	円形	-	-
P47	29×25	楕円形	-	-
P48	32×32	円形	-	-
P49	30×28	楕円形	-	-
P50	30×25	楕円形	-	-
P51	29×26	円形	-	-
P52	42×41	円形	-	-
P53	32×29	円形	-	-
P54	31×27	円形	-	-
P55	34×34	円形	-	-
P56	29×27	円形	-	-
P57	42×31	楕円形	-	-
P58	33×32	円形	-	-
P59	34×29	楕円形	-	-
P60	29×25	円形	-	-
P61	38×35	楕円形	-	-
P62	57×48	楕円形	-	-

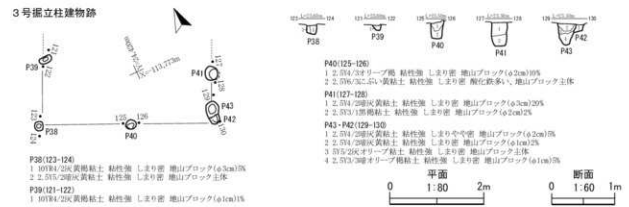
1号掘立柱建物跡



2号掘立柱建物跡



3号掘立柱建物跡



第17図 第4次調査1~3号掘立柱建物跡

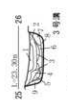
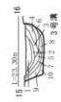
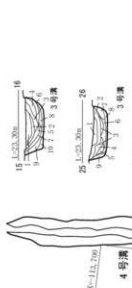


- 1号溝 (55-56)**
 1 10183.0埋戻土 粘性土 上より底 田んぼ土 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 2 10184.0改良粘土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 3 10185.0原状土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層 一部砂混入

- 3号溝 (55-56)**
 1 10186.0改良粘土 粘性土 上より底 埋戻土2層
 2 10187.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)1層
 3 10188.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)1層
 4 10189.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)1層
 5 10190.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)1層
 6 7.513.0改良粘土 粘性土 上より底 埋戻土2層
 7 7.514.0改良粘土 粘性土 上より底 埋戻土2層
 8 7.515.0改良粘土 粘性土 上より底 埋戻土2層
 9 7.516.0改良粘土 粘性土 上より底 埋戻土2層
- 3号溝・1号土坑 (11+2)**
 1 10191.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 2 10192.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 3 10193.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 4 10194.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 5 10195.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 6 2.513.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層

- 3号溝・1号土坑 (11+2)**
 1 10196.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 2 10197.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 3 10198.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 4 10199.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 5 10200.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 6 2.513.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層

- 3号溝・1号土坑 (11+2)**
 1 10201.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 2 10202.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 3 10203.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 4 10204.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 5 10205.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層
 6 2.513.0埋戻土 粘性土 上より底 埋戻アロウツク(6.5m)2層

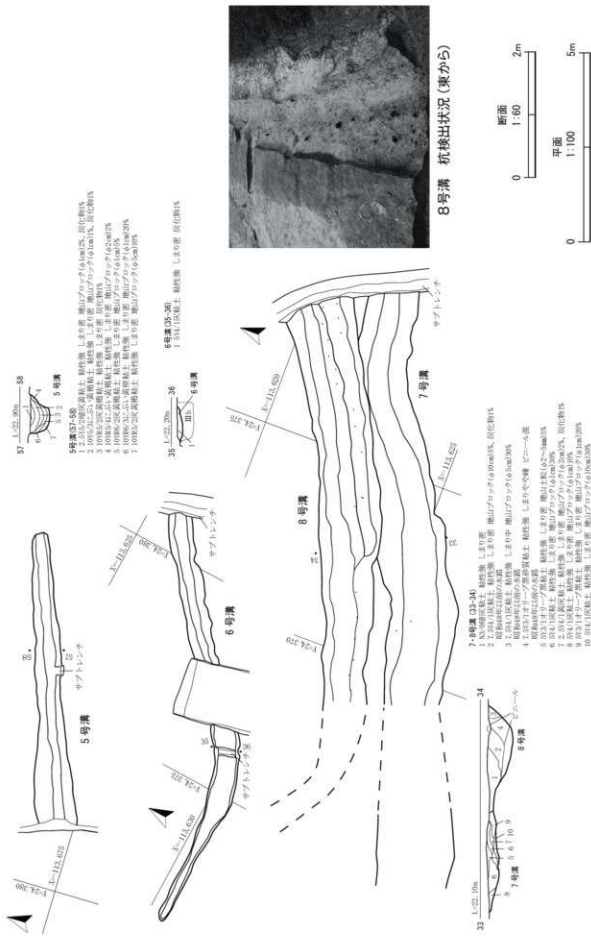


断面
0 1:60



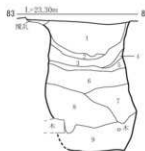
平面
0 1:100

第18図 1・3・4号溝、1号土坑



第20図 第4次調査5～8号溝

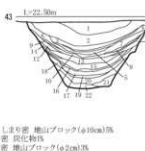
1号井戸



1号井戸(83-84)

- 1 107E2/2赤粘土 地山ブロック(φ10cm)20% 砂混じる
- 2 107E3/1黒粘土 地山ブロック(φ1cm)1%
- 3 2.5V3/1黒粘土 灰1% 地山ブロック(φ3cm)3%
- 4 2.5V4/1黄粘土 地山ブロック(φ1cm)1% 砂混じる
- 5 5V3/1灰粘土 地山ブロック(φ3cm)1% 木屑混じる
- 6 5V4/1灰粘土 灰1%
- 7 5V4/2灰粘土(砂)粘土質 地山ブロック(φ5cm)1%
- 8 5V6/1黄粘土質 灰粘土 灰粘土ブロック(φ3cm)5%
- 9 5V4/1灰粘土質砂 粘土強 しまり硬 木屑・柱多含む 溝水

2号土坑



- 4 5V3/1オリーブ黒粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)10%
- 5 2.5V3/1黒粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ2cm)1%
- 6 5V4/1灰粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)2%
- 7 2.5V4/1黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)30% 炭化物1%
- 8 5V4/1灰粘土 粘土強 しまり密 炭化物1%
- 9 2.5V4/1黄粘土 粘土強 しまり密
- 10 2.5V2/1黒粘土 粘土強 しまり中 炭化物多含む
- 11 2.5V5/1黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)5%
- 12 2.5V4/1灰粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)10%
- 13 10V5/1灰粘土 粘土強 しまり中 炭化物多
- 14 10V4/1灰粘土 粘土強 しまりやや密 地山ブロック(φ2cm)30%
- 15 10V4/1灰粘土 粘土強 しまりやや密 炭化物1%
- 16 2.5V2/1黒粘土 粘土強 しまりやや硬 炭化物多含む
- 17 10V4/1灰粘土 粘土強 しまり密
- 18 5V3/1オリーブ黒粘土 粘土強 しまりやや密 地山ブロック(φ1cm)30%
- 19 2.5V4/1灰粘土 粘土強 しまりやや硬
- 20 8A/09粘土 粘土強 しまり硬
- 21 10V4/1灰粘土 粘土強 しまりやや密 地山ブロック(φ3cm)2%
- 22 10V3/1オリーブ黒粘土 粘土強 しまり硬

2号土坑(43-44)

- 1 2.5V4/1オリーブ黒粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ10cm)5%
- 2 10V4/1黒粘土 粘土強 しまり密 炭化物1%
- 3 2.5V5/1黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ2cm)3%

3号土坑



3号土坑(41-42)

- 1 5V4/1灰粘土 粘土強 しまり密 炭化鉄混じる
- 2 2.5V4/1黄粘土 粘土強 しまり密
- 3 5V5/1灰粘土 粘土強 しまり密
- 4 2.5V5/1灰粘土 粘土強 しまり密
- 5 5V3/1オリーブ黒粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)40%
- 6 10V4/1灰粘土 粘土強 しまり密
- 7 10V6/1灰粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ3cm)20%
- 8 2.5V4/1黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ3cm)1%
- 9 2.5V6/2Cに5%黄粘土 粘土強 しまり密
- 10 10V5/1灰粘土 粘土強 しまり密
- 11 2.5V5/1灰粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック層下に混入(φ3cm) 炭化物1%
- 12 2.5V6/1灰粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ3cm)10%
- 13 10V5/1灰粘土 粘土強 しまり密 炭化物混入

4号土坑



5号土坑

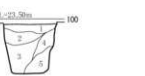


- 5号土坑(79-80)
- 1 10V4/2灰粘粘土 粘土強 しまり密 炭化物1% 地山ブロック(φ2~3cm)10%
 - 2 2.5V6/2Cに5%黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック主体
 - 3 10V6/4黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック主体

4号土坑(63-64)

- 1 10V6/3黄粘粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1~5cm)30%
- 2 10V6/5に5%黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック主体
- 3 10V6/5黄粘粘土 粘土強 しまり密 地山に5%黒粘ブロック1%

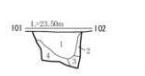
7号土坑



P26(93-94)

- 1 10V4/2灰粘粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ2cm)3%
- 2 5V5/2灰粘土(砂質粘土)粘土強 しまり密
- 3 5V4/2灰粘土(炭質土)柱根が土になりかかたもの
- 4 5V3/2オリーブ粘土 粘土強 しまりやや密 地山ブロック(φ2cm)2%
- 5 2.5V6/2灰粘土 粘土強 しまり密

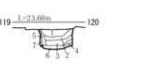
8号土坑



7号土坑(99-100)

- 1 10V4/2灰粘粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ3cm)5%
- 2 5V3/1オリーブ黒粘土 粘土強 しまり中密 地山ブロック(φ1cm)1%
- 3 5V5/1灰粘土 粘土強 しまり中 地山ブロック(φ3cm)5%
- 4 5V4/1灰粘土 粘土強 しまりやや密 地山ブロック(φ1cm)1%
- 5 2.5V4/1黄粘土 粘土強 しまりやや密

9号土坑

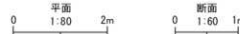


8号土坑(101-102)

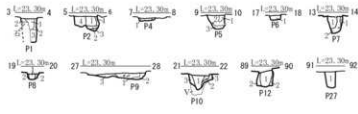
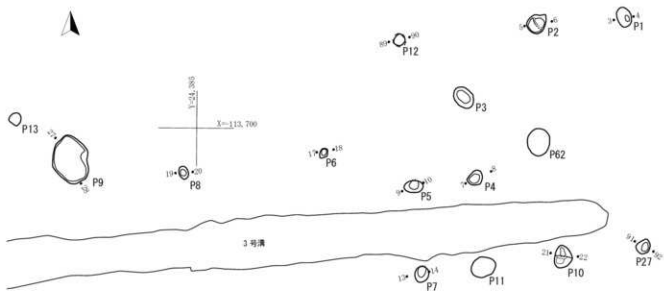
- 1 7.5V2/2赤粘土 粘土強 しまり密 炭化物1% 地山ブロック(φ1cm)1%
- 2 2.5V4/1黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック主体 腐葉土
- 3 2.5V5/1黄粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ2cm)1% 炭化物1%
- 4 2.5V6/1オリーブ粘土 粘土強 しまり密 1層のブロック(φ5cm)5%

9号土坑(119-120)

- 1 10V4/3黄粘粘土 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)1%
- 2 10V4/42%黄粘 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)3% 炭化物多
- 3 2.5V4/2黄粘 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)5%
- 4 10V4/1黄粘 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ1cm)5%
- 5 10V4/1黄粘 粘土強 しまり密 炭化物多
- 6 5V4/1灰 粘土強 しまり密 地山ブロック(主体C05)1%
- 7 2.5V6/3黄粘 粘土強 しまり密 地山ブロック(φ2~3cm)10%



第21図 第4次調査1号井戸、2~5、7~9号土坑、柱穴



- P13-4)**
 1 30YR4/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物(φ2cm)5%, 焼土ブロック(φ2cm)5%
 2 30YR5/2R黄褐色砂質粘土 粘性強 しまり密 焼灰粘土ブロック(φ1cm)5%
 3 30YR5/1R灰褐色土 粘性強 しまり中
- P25-6)**
 1 30YR4/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物40%, 焼土ブロック(φ1~3cm)5%
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物1%
 3 30YR3/1黒褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物5%
 4 30YR5/1R灰褐色土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)1%
- P47-8)**
 1 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物30%, 焼土ブロック(φ1cm)5%



- P59-10)**
 1 30YR6/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体5%
 2 30YR2/2黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物40%, 焼土ブロック(φ1cm)2%
 3 30YR4/3R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物1%, にこり土
- P6(17-18)**
 1 30YR4/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)10%
- P7(13-14)**
 1 30YR4/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物(φ2cm)5%, 焼土ブロック(φ1cm)1%
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物(φ2cm)1%



- P8(19-20)**
 1 30YR4/1黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)10%, 炭化物1%
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体, にこり土
- P9(27-28)**
 1 30YR2/2黒褐色粘土 粘性強 しまり密 かわらけ・焼土ブロック混
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)5%
 3 30YR6/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土混
- P10(21-22)**
 1 30YR3/1黒褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物40%, 焼土ブロック(φ2~3cm)5%
 2 2.5YR/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体
 3 3YR/1R灰褐色土 粘性強 しまり密 焼灰粘土ブロック混



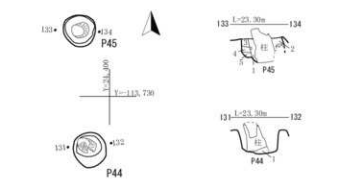
- P8(19-20)**
 1 30YR4/1黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)10%, 炭化物1%
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体, にこり土
- P9(27-28)**
 1 30YR2/2黒褐色粘土 粘性強 しまり密 かわらけ・焼土ブロック混
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)5%
 3 30YR6/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土混
- P10(21-22)**
 1 30YR3/1黒褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物40%, 焼土ブロック(φ2~3cm)5%
 2 2.5YR/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体
 3 3YR/1R灰褐色土 粘性強 しまり密 焼灰粘土ブロック混



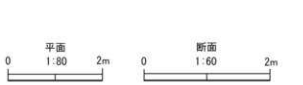
- P12(39-40)**
 1 30YR3/1黒褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物ブロック(φ1cm)5%, 焼土ブロック(φ1cm)5%
 2 30YR5/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ3cm)10%
- P27(91-92)**
 1 30YR3/1黒褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物ブロック(φ1cm)5%, 焼土ブロック(φ3cm)5%



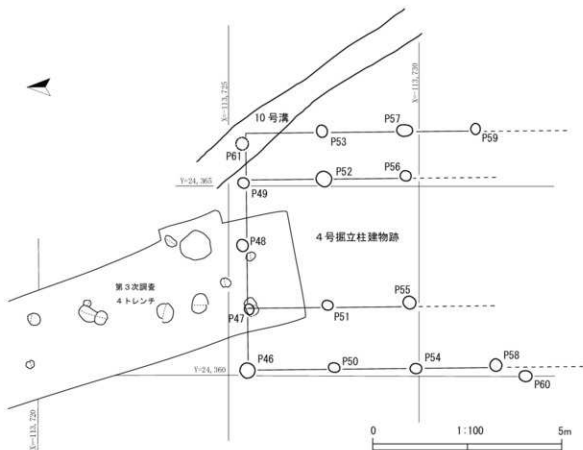
- P23(71-72)**
 1 30YR2/2黒褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物1%
 2 30YR4/2R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)1%
- P24-P25(75-76)**
 P24
 1 30YR4/1R灰褐色土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ10cm)2%
 2 2.5YR/1R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 炭化物1%
 3 30YR5/4R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体
 P25
 1 30YR3/1黒褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)5%
 2 30YR4/4R黄褐色粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック主体



- P44(131-132)**
 1 30G5/1緑灰粘土 粘性強 しまり稀
- P45(133-134)**
 1 5G6/1オリーブ灰粘土 粘性強 しまり密 やや砂っぽい
 2 5Y2/2オリーブ黒粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ3cm)30%
 3 5Y5/2Rオリーブ黒粘土 粘性強 しまり密 焼土ブロック(φ1cm)5%
 4 5G6/1オリーブ灰粘土 粘性強 しまり密 オリーブ黒粘土ブロック(φ5cm)1%
 5 30G6/1緑灰粘土 粘性強 しまり密 オリーブ黒粘土ブロック(φ1cm)1%



第22図 第4次調査柱穴



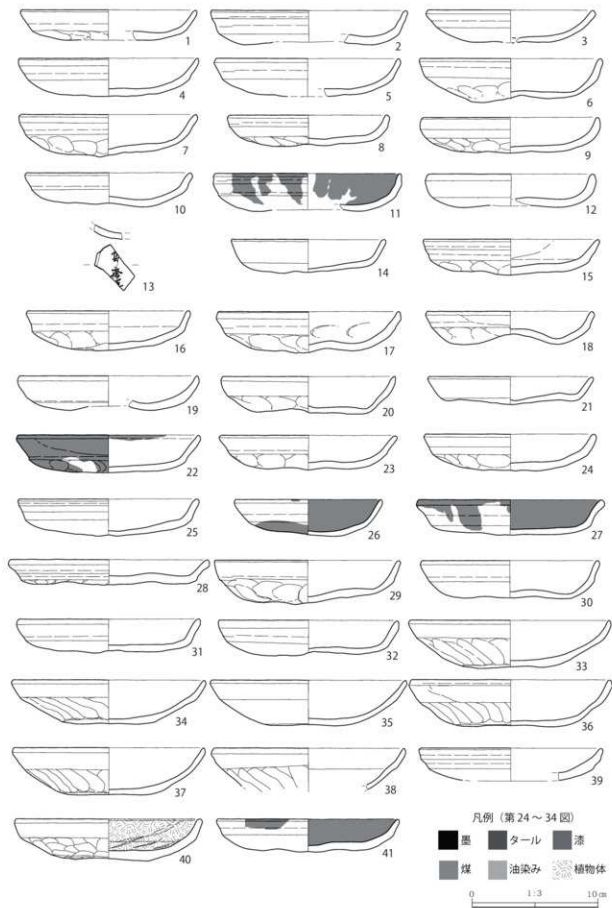
第23図 第4次調査4号掘立柱建物跡、10号溝プラン図

物跡を構成する。時期は12世紀に帰属するものが多いと考えられる。なお、個々の概要は一覧のとおりである。

(2) 出土遺物 かわらけ、国産陶器、中国産磁器、土師器、須恵器、縄文土器、瓦質土器、瓦、土壁、羽口、鉄製品、鉄滓、木製品、種子、石製品、石器、板石が出土している。

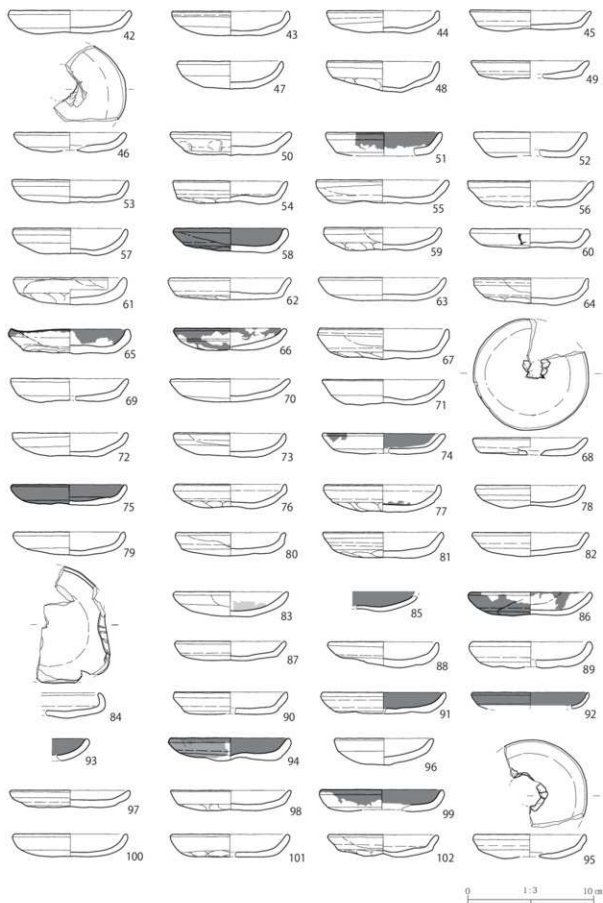
かわらけはコンテナ8箱が出土しており、127点を掲載した。このうち、手づくねかわらけが115点を占め、ロクロかわらけは5点と少ない傾向があり、2号溝と7号溝からの出土である。また、内折れかわらけは7点出土している。国産陶器は175点出土している。このうち、147点が甕である。産地の内訳は、常滑産が97点で最も多く、渥美産が38点、須恵器系陶器が8点、水沼産が4点である。壺は12点出土しており、常滑産が2点、渥美産が9点、須恵器系陶器が1点である。鉢は片口鉢と合わせて16点出土している。常滑産が15点、渥美産が1点である。中国産磁器は24点出土している。このうち、白磁は19点、青白磁は3点、青磁が2点である。器種は白磁が壺と碗が主体を占め、青白磁は合子(5、17)と皿(24)である。青磁は小片ではあるが、袋物の器種とみられる破片が2点出土している(7、8)。これまでに平泉では出土していないものである。瓦は26点出土しており、内訳は平瓦12点、丸瓦5点、軒平瓦5点、種類不明が4点である。丸瓦に関しては弧の描き方が繊いものが多く、平瓦との判別が難しいものが多かったが、平瓦よりもややきつく弧を描くものを丸瓦とした。出土した瓦は全般的に凹面に布目、凸面に縄目がみられるものが多い。軒平瓦は、瓦当面に陽刻三巴剣頭文が施されているものが1点(2)、印刻剣頭文が施されているものが1点(14)であり、他は小片のため不明である。鉄製品は5点出土しており、C区2号溝から鋤先(1)がほぼ完形で出土した。また、1号井戸の底面近くから刀子(3)が出土した。木製品は漆器や下駄、板状木製品などが出土している。このほか、須恵器5点、中世の瓦質土器(香炉)1点、土壁657.1g、羽口3点、鉄滓303.6g、胡桃や桃などを中心とした種子が出土している。

かわらけ



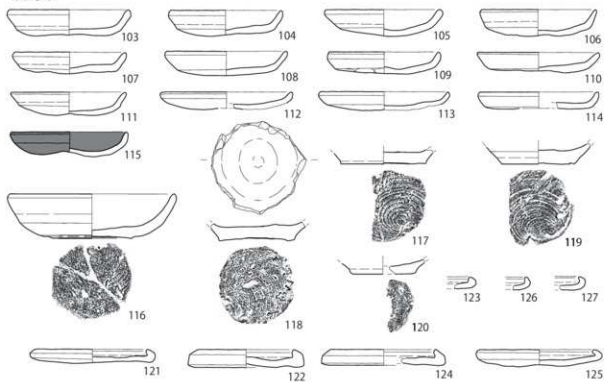
第24図 出土遺物(1)(第4次)

かわらけ

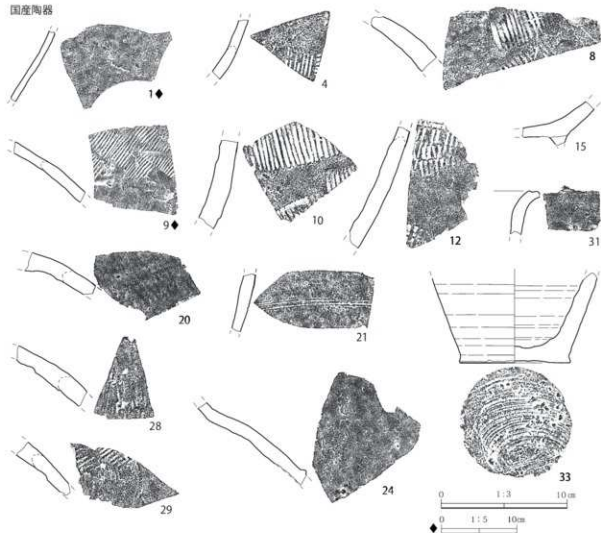


第25図 出土遺物(2)(第4次)

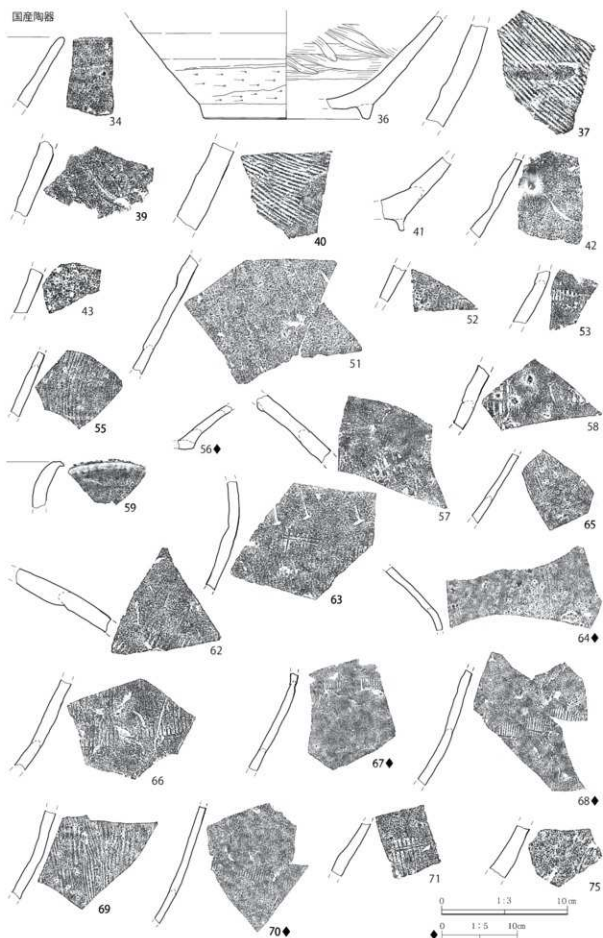
かわらけ



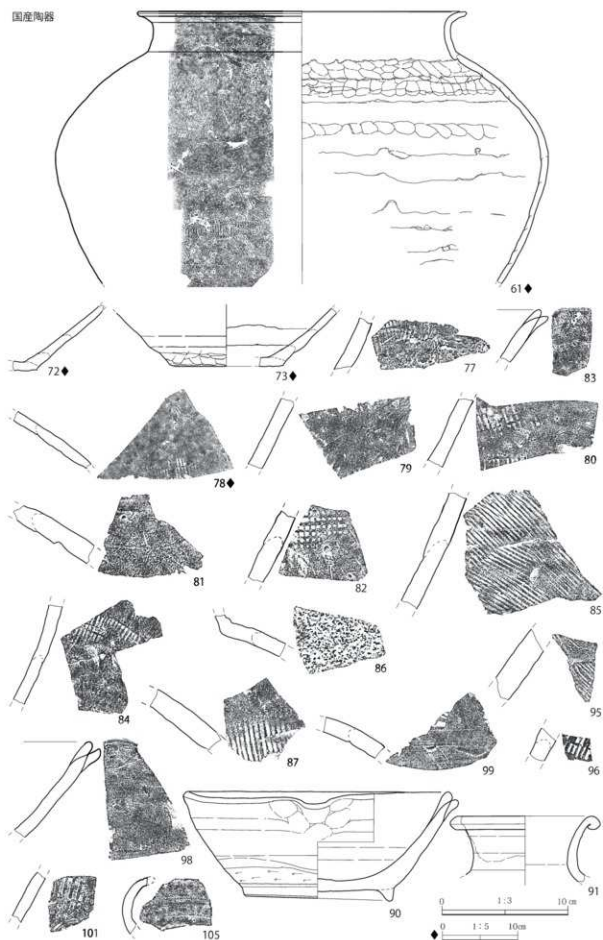
国産陶器



第26図 出土遺物(3) (第4次)

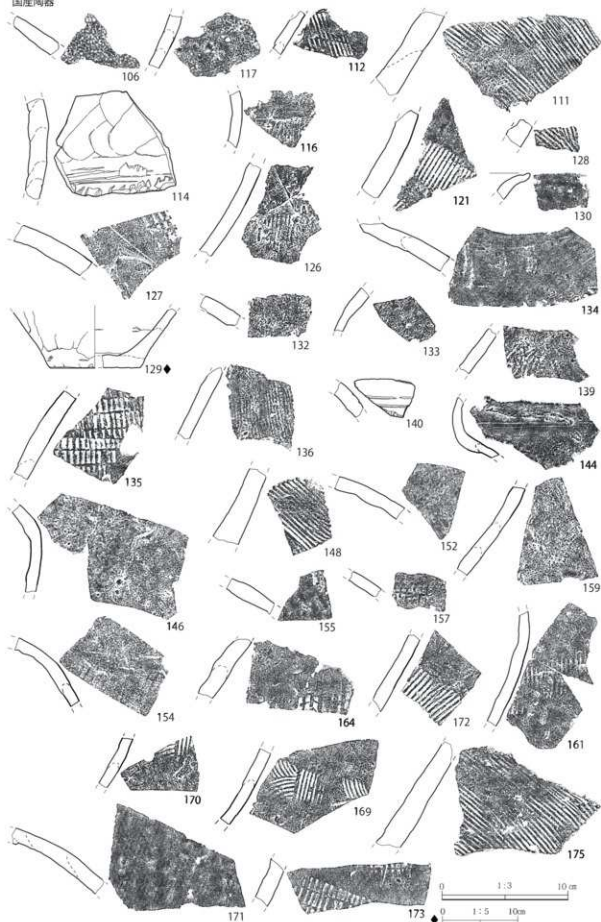


第27図 出土遺物(4)(第4次)



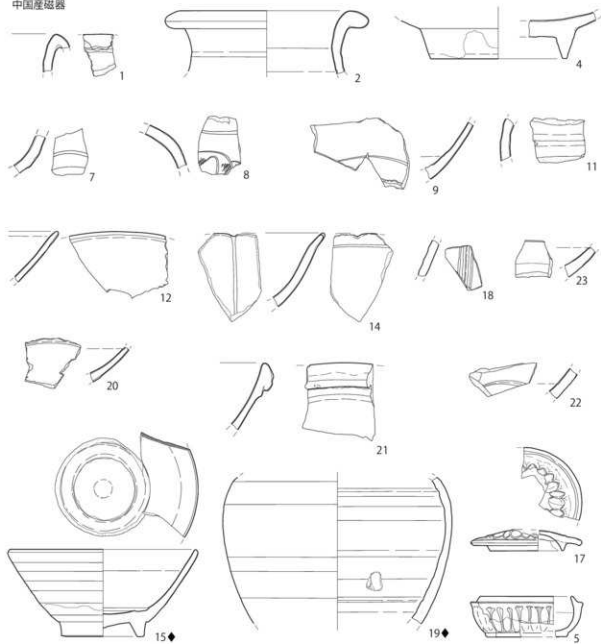
第28図 出土遺物(5)(第4次)

国産陶器

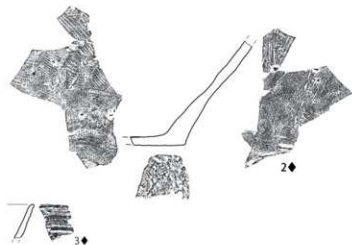


第29図 出土遺物(6) (第4次)

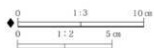
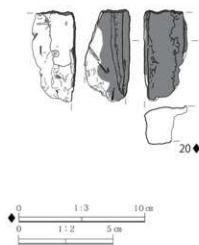
中国産磁器



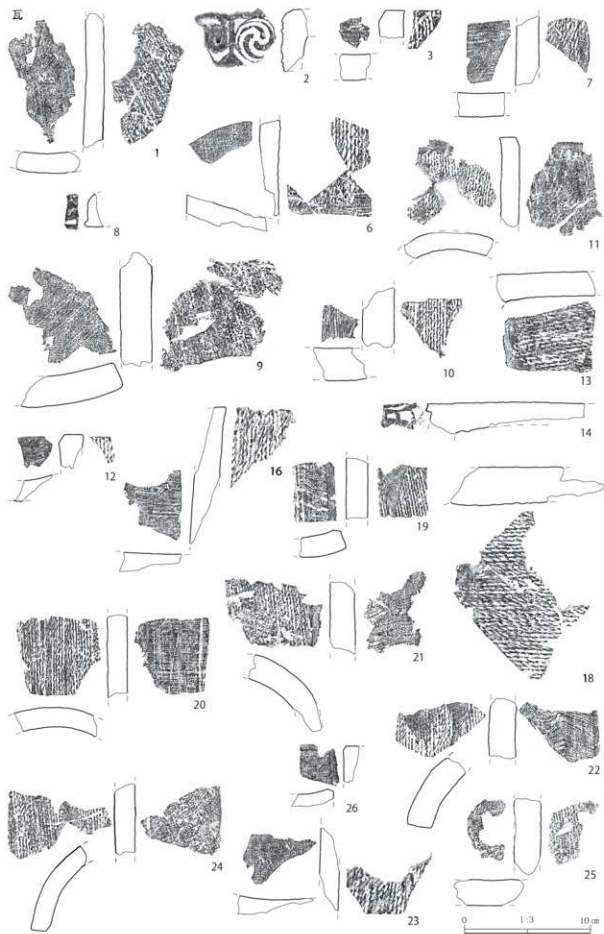
須恵器



土壁

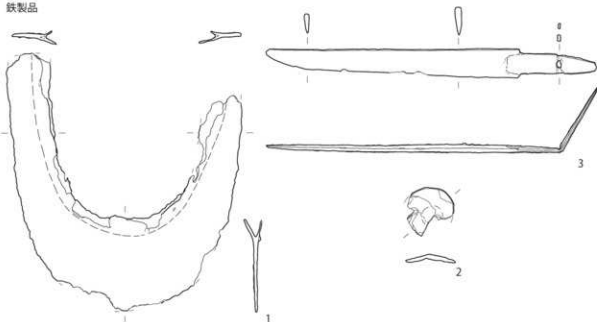


第30図 出土遺物(7)(第4次)

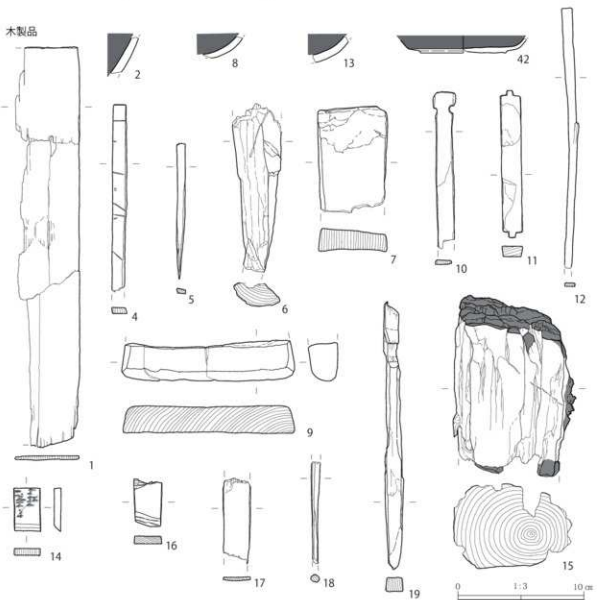


第31図 出土遺物(8)(第4次)

鉄製品

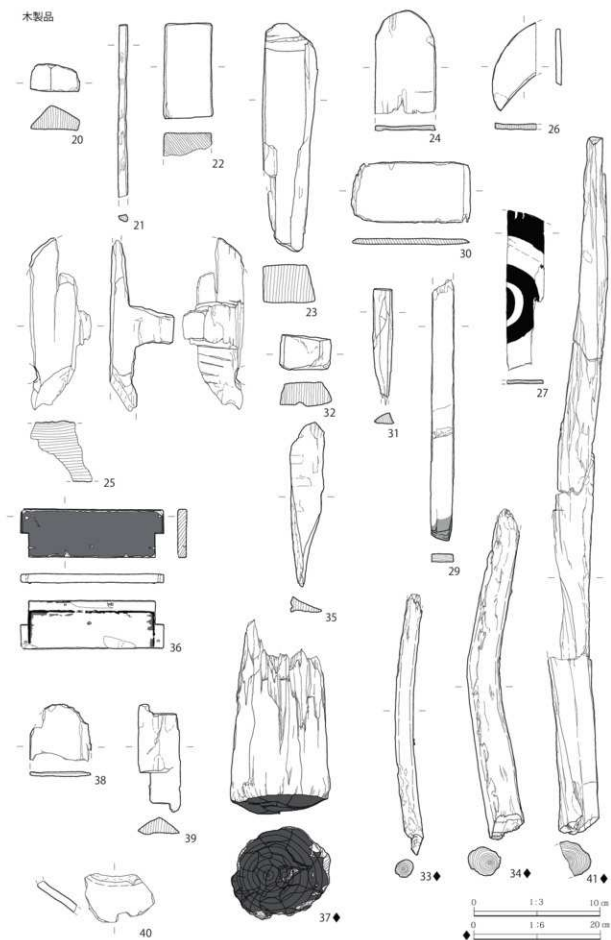


木製品



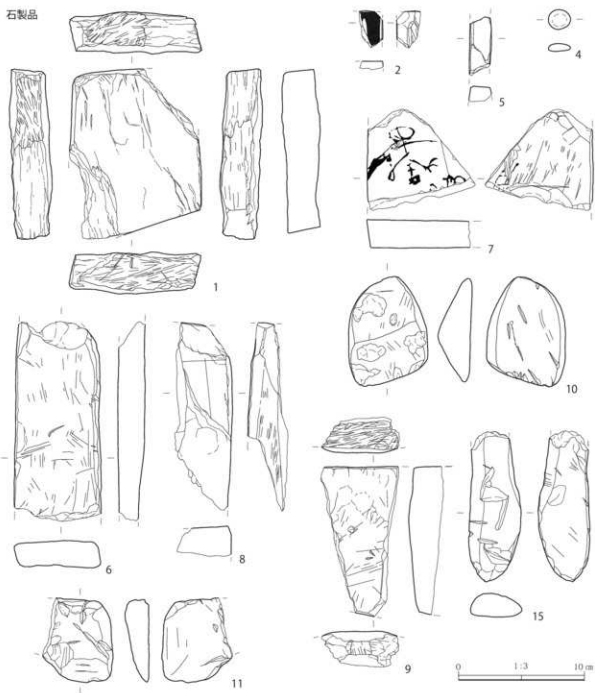
第32図 出土遺物(9) (第4次)

木製品



第33図 出土遺物(10) (第4次)

石製品



第34図 出土遺物(11)(第4次)

表15 かわらけ観察表(1) (第4次)

No	国産	製法	出土位置・層位	種類	法		残存率 (%)	年代	備考	登録No	
					口径	底径					
1	24	-	1号溝	手づくり土	14.0	-	25	12c	スノコ板 指痕	1.3	
2	24	-	1号溝	手づくり土	15.6	-	20	12c	スノコ板	17.9	
3	24	-	1号溝	手づくり土	13.4	-	26	25	12c	スノコ板 摩滅	17.30
4	24	16	2号溝東端	手づくり土	14.3	-	2.6-3.4	90	12c	摩滅	244.11
5	24	-	2号溝 上層	手づくり土	14.8	-	-	30	12c	磨滅	38
6	24	-	2号溝 中層	手づくり土	14.6	-	2.9-3.7	70	12c	スノコ板 指痕	30
7	24	16	2号溝 下層	手づくり土	14.2-14.5	-	2.6-2.9	90	12c	指痕	243.8
8	24	-	A-C区2号溝 上層	手づくり土	12.8-13.0	-	2.5-2.7	80	12c	指痕	214.12,215
9	24	-	A-C区2号溝 上層	手づくり土	14.3	-	2.4-3.2	50	12c	スノコ板 指痕	215.8
10	24	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	12.9-13.3	-	2.2-2.9	80	12c	内外面に草化付着	215.11
11	24	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	15.0	-	-	20	12c	内外面に草化付着	215.40
12	24	-	A-C区2号溝 上層	手づくり土	13.6	-	-	30	12c	スノコ板 跡目	214.2,215.9
13	24	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	-	-	-	小片	12c	墨書「兵 勇」か	214.2,216.2
14	24	16	C区2号溝 上層	手づくり土	12.3	-	3.0	80	12c	摩滅	160
15	24	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	13.7-14.0	-	2.4-3.1	95	12c	指痕 ナテ上げ痕	152.15,173
16	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	13.1-14.1	-	2.3-3.4	95	12c	指痕	159
17	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	14.7	-	3.0-3.4	60	12c	スノコ板 指痕	164.11
18	24	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	13.1-13.6	-	2.6-3.2	95	12c	指痕 底部に草目	176.17
19	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	14.4	-	2.7	40	12c	スノコ板	176.18
20	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	13.9	-	2.5-3.0	60	12c	スノコ板 指痕	179.30
21	24	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	13.2	-	1.9-2.5	70	12c	スノコ板 摩滅	179.11
22	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	14.6	-	3.0	50	12c	内外面に草付着 スノコ板 指痕 ナテ上げ痕 内 面草化調整痕	176.179, 181.7
23	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	14.2	-	2.7	40	12c	表面焼熱 スノコ板 指痕	190.7
24	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	13.7	-	2.9	60	12c	スノコ板 指痕	188.13
25	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	14.4	-	3.0	40	12c	スノコ板 摩滅	189
26	24	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	11.7-12.1	-	1.9-3.2	70	12c	内外面に草付着 スノコ板 草化調整痕	148.7
27	24	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	15.0	-	2.8-3.3	70	12c	内外面に草付着 湯炭 スノコ板	148.8
28	24	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	16.0	-	2.0	30	12c	スノコ板 指痕	165.11
29	24	16	3号溝東端 中～下層	手づくり土	14.4-14.9	-	2.5-4.2	70	12c	指痕	81.2
30	24	16	3号溝 上層	手づくり土	14.2-14.6	-	2.8-3.1	95	12c	摩滅	82
31	24	-	3号溝 上層	手づくり土	14.6	-	2.4-2.9	70	12c	摩滅	53
32	24	16	3号溝 上層	手づくり土	13.5-14.3	-	2.3-3.2	80	12c	跡目 摩滅	54.55
33	24	-	4号溝 上層	手づくり土	16.1	-	3.3-4.0	70	12c	指痕 ナテ上げ跡着 摩滅	43
34	24	-	4号溝 上層	手づくり土	15.2-15.6	-	3.0-4.0	60	12c	指痕 ナテ上げ跡着 摩滅	34.5,40
35	24	-	4号溝 上層	手づくり土	15.6	-	3.6	40	12c	磨滅 摩滅	34.6
36	24	-	4号溝 上層	手づくり土	16.2	-	3.7	30	12c	指痕 ナテ上げ跡着 摩滅	47.6
37	24	-	4号溝 上層	手づくり土	15.3	-	3.7	50	12c	指痕 ナテ上げ跡着 摩滅	40.8
38	24	-	4号溝 中～下層	手づくり土	15.4	-	-	20	12c	指痕 ナテ上げ跡着 湯炭 欠損 摩滅	40.18,21
39	24	-	1号溝 上層	手づくり土	9.0	-	-	20	12c	指痕	210.7
40	24	16	1号土下層 (裏)	手づくり土	14.6-14.9	-	2.6-4.1	100	12c	植物付着 指痕 ナテ上げ跡着 内面に草	205
41	24	-	2号溝溝底残片	手づくり土	14.5	-	2.6	40	12c	内外面に草付着 スノコ板	152.12
42	25	16	9号溝	手づくり土	9.6-9.8	-	1.5-2.0	100	12c	スノコ板 摩滅	193.3
43	25	16	9号溝	手づくり土	9.7-9.9	-	1.6-2.1	90	12c	磨熱 摩滅	193.4
44	25	-	9号溝	手づくり土	9.0	-	1.5-1.8	70	12c	摩滅	193.5
45	25	16	2号溝	手づくり土	9.0-9.7	-	1.4-2.2	90	12c	摩滅	20.32
46	25	16	2号溝東端 中～下層	手づくり土	9.0	-	1.5	30	12c	穿孔	81.13
47	25	-	2号溝東端 中～下層	手づくり土	8.4	-	2.2	80	12c	指痕	81.14
48	25	16	2号溝東端 中～下層	手づくり土	9.0-9.2	-	1.7-2.8	100	12c	指痕	81.15
49	25	-	2号溝 上層	手づくり土	9.1	-	1.2-1.7	50	12c	摩滅	81.18
50	25	-	2号溝 上層	手づくり土	9.6	-	1.8	60	12c	ナテ止めの指痕	81.19
51	25	16	2号溝 上層	手づくり土	9.2	-	-	20	12c	口縁部草付着	242.11
52	25	-	2号溝 上層	手づくり土	9.0	-	2.0	50	12c	指痕	242.12
53	25	16	2号溝 下層	手づくり土	9.3	-	1.7	90	12c	スノコ板	27
54	25	16	2号溝 下層	手づくり土	9.1	-	2.0	70	12c	スノコ板 指痕	28
55	25	16	2号溝 中～下層	手づくり土	10.6	-	1.9	100	12c	ナテ上げ痕	20.15
56	25	-	2号溝 中～下層	手づくり土	10.0	-	2.1	70	12c	摩滅	20.16
57	25	-	2号溝 中～下層	手づくり土	9.1	-	2.2	60	12c	指痕	20.17
58	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	8.8-9.2	-	1.4-2.1	95	12c	内外面に草付着 スノコ板 指痕 ナテ上げ痕	24.13
59	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	9.1-9.6	-	1.7-2.0	90	12c	スノコ板 指痕 ナテ上げ痕	24.14
60	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	9.6	-	1.5-1.8	95	12c	スノコ板	24.15
61	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	9.0	-	1.7-2.2	95	12c	指痕 ナテ上げ痕	24.16
62	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	9.7-10.1	-	1.5-2.0	95	12c	指痕	24.17
63	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	10.2	-	1.6-1.9	90	12c	指痕	214.18,215
64	25	16	A-C区2号溝 上層	手づくり土	9.2-9.6	-	1.5-2.3	80	12c	指痕 ナテ上げ痕	214.19
65	25	16	C区2号溝 上層	手づくり土	9.5-9.7	-	1.5-2.2	95	12c	内外面に草付着 指痕 ナテ上げ痕	161
66	25	16	C区2号溝 上層	手づくり土	9.0	-	1.7	30	12c	口縁部草付着 湯炭	167.2
67	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	10.3-10.5	-	2.0-2.9	95	12c	内外面に草付着 スノコ板 指痕 ナテ上げ痕	183
68	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	8.8-9.1	-	1.2-2.1	80	12c	表面焼熱 穿孔か	145
69	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.1	-	1.9	70	12c	指痕	162
70	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.5	-	1.8	90	12c	スノコ板	170
71	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.7	-	1.7-2.0	95	12c	スノコ板	164.12
72	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.2	-	1.8	80	12c	指痕	164.13
73	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	8.8-9.0	-	1.6-2.2	90	12c	指痕 ナテ上げ痕	164.14
74	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.8	-	1.2-1.6	40	12c	内外面に草付着 跡目 摩滅	164.15
75	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.0-9.2	-	1.4-2.1	80	12c	内外面に草化付着	182.2
76	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.0	-	1.6-2.6	90	12c	スノコ板 指痕	179.12
77	25	16	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.4	-	2.0-2.2	80	12c	内外面に草付着 スノコ板 指痕	179.13
78	25	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	8.8	-	1.5-1.9	60	12c	指痕	179.14
79	25	-	C区2号溝 中～下層	手づくり土	9.0	-	1.6-2.0	70	12c	摩滅	179.15

表16 かわらけ観察表(2) (第4次)

No	図版	写回	出土位置・層位	種類	口径			残存率 (%)	年代	備考	登録No
					口径	底径	器高				
80	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	8.8-9.2	-	1.4-2.1	70	12c	ナテ上げ底 赤み	176-19
81	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.2	-	2.1	70	12c	スノコ裏 指痕	147-8
82	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.3	-	1.3-1.9	60	12c	摩滅	146-8
83	25	16	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.1	-	1.8-2.2	90	12c	口縁僅存着 内面油染みか 油臭 ナテ上げ底	150-8
84	25	16	C区2号溝 中～下層	手づね小	-	-	2.0	50	12c	口縁一部内湾, 耳痕か	150-9
85	25	16	C区2号溝 中～下層	手づね小	-	-	-	10	12c	内外面に煤付着	164-16
86	25	16	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.5-9.8	-	1.6-2.3	100	12c	口縁部煤付着 油臭 ナテ上げ底	189-8
87	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	8.9	-	1.1-1.6	70	12c	スノコ裏	189-10
88	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	8.8	-	1.6-2.6	70	12c	スノコ裏 赤み	189-11
89	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.0	-	2.1	30	12c	スノコ裏	188-14
90	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.1	-	1.8	40	12c	-	189-11
91	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	10.0	-	1.7	30	12c	内面煤付着	189-12
92	25	16	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.4	-	-	10	12c	内外面に煤付着 底部欠損	180-7
93	25	16	C区2号溝 中～下層	手づね小	-	-	-	10	12c	内面煤付着	180-8
94	25	17	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.4-9.7	-	1.3-2.4	80	12c	内面煤付着 外面に油染みか 油臭	146,148-9
95	25	17	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.0	-	1.9	40	12c	スノコ裏 穿孔孔	148-10
96	25	17	C区2号溝 中～下層	手づね小	7.9	-	2.1	80	12c	小型	165-12
97	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.6	-	1.2-1.7	30	12c	-	165-13
98	25	-	C区2号溝 中～下層	手づね小	9.6	-	1.6	50	12c	磨痕	165-14
99	25	17	C区2号溝横出面	手づね小	9.9	-	1.8	40	12c	内外面煤付着 穿孔孔	160,163
100	25	-	C区2号溝横出面	手づね小	9.2	-	1.8	50	12c	摩滅	136-6
101	25	-	C区2号溝横出面	手づね小	9.1-9.5	-	1.6-2.0	70	12c	スノコ裏 指痕	215,218-2
102	25	17	C区2号溝	手づね小	8.6-8.9	-	1.4-1.9	100	12c	スノコ裏 指痕 ナテ上げ底	188-3
103	26	-	3号溝 東側 埋土	手づね小	9.9	-	1.7-2.2	70	12c	摩滅	84
104	26	17	3号溝 上層	手づね小	9.0-9.2	-	1.6-2.3	80	12c	摩滅	41
105	26	17	3号溝 上層	手づね小	9.4-9.6	-	1.4-2.5	90	12c	摩滅	56
106	26	17	3号溝 上層	手づね小	9.1-9.5	-	1.9-2.3	90	12c	摩滅	51,61
107	26	17	3号溝 上層	手づね小	9.0	-	1.5-1.8	90	12c	スノコ裏 摩滅	58
108	26	17	3号溝 上層	手づね小	9.4-9.7	-	1.6-2.1	100	12c	-	59
109	26	17	3号溝	手づね小	9.0	-	1.5-1.8	90	12c	磨痕 摩滅	127-1
110	26	17	4号溝 上層	手づね小	9.4-9.7	-	1.4-2.0	90	12c	穿孔孔	37
111	26	17	4号溝 下層	手づね小	9.0-9.3	-	1.5-2.1	90	12c	摩滅	57
112	26	-	4号溝 上層	手づね小	10.6	-	1.4	40	12c	摩滅 底面剥離	40,47
113	26	-	4号溝 中～下層	手づね小	10.4	-	1.5	30	12c	摩滅 底面剥離	48-8
114	26	-	1号土坑 上層	手づね小	9.6	-	-	20	12c	スノコ裏	50-1
115	26	17	A区中央部横出面	手づね小	9.3	-	1.8-2.1	70	12c	内外面に煤付着 摩滅	202,233
116	26	17	C区2号溝 中～下層	コテコテ	13.4	6.3	3.1-3.5	40	12c	-	176
117	26	17	C区2号溝 中～下層	コテコテ	-	6.8	-	30	12c	底部のみ	147-9
118	26	-	2号溝 下層	コテコテ	-	6.0	-	50	12c	スノコ裏 底部のみ	243-9
119	26	-	2号溝 中～下層	コテコテ	-	5.8-6.0	-	40	12c	スノコ裏 底部のみ	14-9
120	26	-	7号溝 埋土	コテコテ	-	5.2	-	20	12c	摩滅 底部のみ	118-13
121	26	17	2号溝東側 上層	内附丸	9.5-9.9	-	0.7-1.2	90	12c	-	71
122	26	17	2号溝 上層	内附丸	9.2	-	1.4	-	-	-	16-11
123	26	17	2号溝 上層	内附丸	-	-	-	小片	12c	-	39-8
124	26	17	A-C区2号溝 1層	内附丸	9.8	-	1.3	20	12c	-	214-30
125	26	17	C区2号溝 中～下層	内附丸	10.0	-	0.9-1.3	70	12c	スノコ裏	182-16
126	26	17	4号溝	内附丸	-	-	-	小片	12c	-	40-1
127	26	17	1号土坑 埋土	内附丸	-	-	-	小片	12c	-	200

表17 国産陶器観察表(1) (第4次)

No	図版	写回	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No
1	26	-	1号溝	常滑	甕	胴部	12c	-	1-2
2	-	-	2号溝東側	常滑	甕	胴部	12c	-	244-2
3	-	-	2号溝東側 上層	常滑	甕	胴部	12c	-	68-3
4	26	-	2号溝東側 上層	常滑	甕	胴部	12c	押印	73-4
5	-	-	2号溝東側 上層	常滑	甕	肩～胴部	12c	-	73-5
6	-	-	2号溝東側 上層	常滑	甕	胴部	12c	25と同一体	73-6
7	-	-	2号溝東側 上層	常滑	甕	胴部	12c	小片	73-7
8	26	17	2号溝東側 上層	灰美	甕	胴部	12c	押印 87.10.3次 28と同一体	73-2
9	26	17	2号溝東側 上層	灰美	甕	胴部	12c	押印	72
10	26	17	2号溝東側 上層	灰美	甕	胴部	12c	押印 8と同一体	68-2
11	-	-	2号溝東側 上層	灰美	甕	胴部	12c	-	68-5
12	26	-	2号溝東側 上層	灰美	甕	胴部	12c	押印 28,58,94,135,57,76,78,80,163,173,3次 2,25,27,32,33,34,50,51 と同一体	73-3
13	-	-	2号溝東側 上層	灰美	甕	-	12c	小片	68-6
14	-	-	2号溝東側 上層	灰美	甕	肩部	12c	-	68-4
15	26	-	2号溝東側 上層	常滑	鉢	体～底部	12c	内面に使用痕	70
16	-	-	2号溝東側 埋土	常滑	甕	肩部	12c	割れ口に輸入入	26-2
17	-	-	2号溝東側 埋土	常滑	甕	胴部	12c	内面に漆付着 18,125と同一体	26-5
18	-	-	2号溝東側 埋土	常滑	甕	胴部	12c	内外面に漆付着 17と同一体	26-7
19	-	-	2号溝東側 埋土	常滑	甕	胴部	12c	-	26-9
20	26	17	2号溝東側 埋土	灰美	甕	肩部	12c	押印 断面の一部に擦痕	26-4
21	26	17	2号溝東側 埋土	常滑	筋帯	胴部	12c	磨痕	26-3
22	-	-	2号溝東側	灰美	甕	肩部	12c	-	26-8
23	-	-	2号溝 上層	常滑	甕	肩部	12c	88,149,3次,13,38と同一体	242-3
24	26	17	2号溝 上層	常滑	甕	肩部	12c	外面に漆付着	8-2
25	-	-	2号溝 上層	常滑	甕	胴部	12c	6と同一体	8-6
26	-	-	2号溝 上層	常滑	甕	胴部	12c	-	16-3
27	-	-	2号溝 上層	常滑	甕	胴部	12c	-	39-2

表18 国産陶器観察表(2) (第4次)

No	回覧	写回	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No
28	26	-	2号溝 上層	瓦美	美	肩部	12c	12と同一個体	8-5
29	26	-	2号溝 上層	瓦美	美	肩部	12c	押印	16-2
30	-	-	2号溝 上層	瓦美	美	肩部	12c		45-2
31	26	-	2号溝 上層	瓦美	美	口縁	12c	口唇部欠損 50.129.140と同一個体	8-3
32	-	-	2号溝 上層	瓦美	美	胴部	12c		45-3
33	26	17	2号溝 上層	胆忠器系	美	胴～底部	12c		473.33-2
34	27	17	2号溝 上層	常滑	鉢	口縁～体部	12c	174と同一個体	8-4
35	-	-	2号溝 上層	常滑	鉢	体部	12c		8-7
36	27	17	2号溝 上層	常滑	鉢	体～底部	12c	内面にハタジ状調整痕 断面に使用痕	242-2
37	27	17	2号溝 上～中層	胆忠器系	美	胴部	12c	タタキ	23-2
38	-	-	2号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c		20-4
39	27	-	2号溝 中～下層	水沼	美	胴部	12c		14-3
40	27	-	2号溝 中～下層	胆忠器系	美	胴部	12c	タタキ	20-3
41	27	-	2号溝 中～下層	常滑	鉢	体～底部	12c	内面に使用痕	20-2
42	27	-	2号溝	常滑	美	胴部	12c	100,101,104,117,118,119,120,146,152,153,154,155,159,161,165～167と同一個体	2-2
43	27	-	2号溝	常滑	美	胴部	12c		2-3
44	-	-	2号溝	常滑	美	胴部	12c	55,64,65,69,133,2次26と同一個体	132-2
45	-	-	2号溝	瓦美	美	底部か	12c		2-4
46	-	-	A～C区2号溝 上層	瓦美	美	胴部	12c		22.3,215-2
47	-	-	A～C区2号溝 上層	常滑	鉢	体部	12c		216-3
48	-	-	A～C区2号溝	常滑	壺	肩部	12c		228-2
49	-	-	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c		144-4
50	-	-	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c	51,61,63,66,70,71と同一個体	144-5
51	27	-	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c	50と同一個体	172-2,165-5
52	27	-	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c	押印	175-3
53	27	-	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c	押印	175-4
54	-	-	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c	小片	175-5
55	27	17	C区2号溝 上層	常滑	美	胴部	12c	龍田状調整痕 44と同一個体	175-6
56	27	-	C区2号溝 上層	常滑	美	底部	12c	72,73と同一個体	144-2
57	27	-	C区2号溝 上層	瓦美	美	肩部	12c	押印か 8と同一個体	163-2
58	27	-	C区2号溝 上層	瓦美	美	胴部	12c	押印 12と同一個体	175-2
59	27	17	C区2号溝 上層	瓦美	美	口縁	12c	31と同一個体	144-3
60	-	-	C区2号溝 上層	常滑	鉢	体部	12c		144-6
61	28	17	C区2号溝 中～下層	常滑	美	口縁～胴部	12c	押印 50と同一個体	124-2,151-1,157,171,196-4
62	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	肩部	12c	押印	164-3
63	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	肩～胴部	12c	押印 ヘラナダ 50と同一個体	176-5
64	27	18	C区2号溝 中～下層	常滑	美	肩～胴部	12c	龍田状調整痕 44と同一個体	182-4,243-2
65	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	龍田状調整痕 44と同一個体	150-4
66	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	押印 50と同一個体	164-4
67	27	18	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	押印 147,160,3次6,14～16,36,37,40と同一個体	176-3
68	27	18	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	外面に復付者	152.3,176-4
69	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	龍田状調整痕 44と同一個体	176-8
70	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	押印 50と同一個体	182.5,281-2
71	27	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	押印 50と同一個体	182-6
72	28	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	底部	12c	56と同一個体	176-6
73	28	18	C区2号溝 中～下層	常滑	美	底部	12c	56と同一個体	182-3
74	-	-	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	肩部	12c		181-2
75	27	-	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c	77と同一個体	147-2
76	-	-	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c	12と同一個体	164-2
77	28	18	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c	押印 75と同一個体	165-3
78	28	18	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	肩部	12c	押印 12と同一個体	176-7
79	28	18	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c	押印 外面の全面と断面の一部に捺印(二次転用中)	179-2
80	28	-	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c	押印 12と同一個体	186-3
81	28	18	C区2号溝 中～下層	水沼	美	肩部	12c	押印	146-2
82	28	18	C区2号溝 中～下層	水沼	美	胴部	12c	押印	165-4
83	28	-	C区2号溝 中～下層	常滑	片口鉢	口縁～体部	12c		176-9
84	28	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	胴部	12c	押印	148.3-4
85	28	18	C区2号溝 中～下層	胆忠器系	美	胴部	12c	タタキ	148-2
86	28	-	C区2号溝 中～下層	常滑	美	肩～胴部	12c		165-2
87	28	-	C区2号溝 中～下層	瓦美	美	肩部	12c	押印 8と同一個体	14-2
88	-	-	C区2号溝 検出面	常滑	美	肩部	12c	23と同一個体	169-3
89	-	-	C区2号溝 検出面	常滑	美	胴部	12c		169-2
90	28	18	C区2号溝	瓦美少	片口鉢	口縁～底部	12c		155,156
91	28	18	3号溝 上層	瓦美	美	口縁～胴部	12c		42
92	-	-	3号溝 下層	瓦美	美	肩部	12c		62-2
93	-	-	3号溝 埋土	瓦美	美	肩部	12c		46-2
94	-	-	4号溝 上層	瓦美	美	胴部	12c	12と同一個体	47-2
95	28	-	4号溝 中～下層	胆忠器系	美	胴部	12c	タタキ	48-2
96	28	-	4号溝 中～下層	瓦美	美	胴部	12c	押印	48-3
97	-	-	4号溝 上～下層	常滑	美	肩部	12c		40-2
98	28	18	4号溝 埋土	常滑	片口鉢	口縁～体部	12c		91-2
99	28	-	5号溝 埋土	瓦美	美	肩部	12c	押印 134と同一個体	138-2
100	-	-	6号溝 埋土	常滑	美	胴部	12c	断面にガラス質付着 表面調整 42と同一個体	101-3
101	28	-	6号溝 埋土	常滑	美	胴部	12c	押印 12と同一個体	105-2
102	-	-	6号溝	常滑	美	胴部	12c	109,110,156-2と同一個体	116-2
103	-	-	6号溝	常滑	美	胴部	12c		114-3
104	-	-	7号溝 埋土	常滑	美	肩部	12c	42と同一個体	118-3
105	28	-	7号溝 埋土	常滑	美	口縁～胴部	12c		119-2

表19 国産陶器観察表(3) (第4次)

No	国産	写回	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No
106	29	-	7号溝 埋土	常滑	甕	肩部	12c		118-2
107	-	-	7号溝 埋土	常滑	鉢	体部	12c		118-4
108	-	-	8号溝 埋土	常滑	甕	肩部	12c		116-2
109	-	-	8号溝 埋土	常滑	甕	肩-胴部	12c	102と同一個体	113-4
110	-	-	8号溝 埋土	常滑	甕	肩-胴部	12c	102と同一個体	113-5
111	29	-	8号溝 埋土	須恵器系	甕	胴部	12c	タタキ	113-3
112	29	-	8号溝 埋土	常滑	甕	胴部	12c	押印	113-6
113	-	-	8号溝 埋土	常滑	甕	胴部	12c		113-8
114	29	18	8号溝 埋土	瀬夫	甕	肩-胴部	12c	解函文	113-2
115	-	-	8号溝 埋土	常滑	鉢	体部	12c		113-9
116	29	-	8号溝	常滑	甕	肩-胴部	12c	横目状調整痕	109-4
117	29	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	109-3
118	-	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	109-5
119	-	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	109-7
120	-	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	109-8
121	29	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c	押印	109-2
122	-	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c		109-6
123	-	-	8号溝	常滑	甕	胴部	12c		109-9
124	-	-	8号溝	常滑	鉢	口縁	12c		107-2
125	-	-	1号井戸 埋土	常滑	甕	胴部	12c	透付着 17と同一個体	209-2
126	29	-	1号土坑 埋土	常滑	甕	胴部	12c	押印	200-3,4
127	29	-	1号土坑 埋土	瀬夫	甕	胴部	12c	押印	200-2
128	29	-	1号土坑 埋土	須恵器系	甕	胴部	12c	タタキ	200-5
129	29	18	1号土坑 埋土	瀬夫	甕	底部	12c	ヘラタテ調整痕 外底に意の痕跡.31と同一個体	90-1,3次53
130	29	-	2号土坑 埋土	常滑	甕	口縁	12c		130-2
131	-	-	A区北部埋戻状	常滑	甕	胴部	12c		141-3
132	29	-	A区北部埋戻状	木沼	甕	肩部	12c		141-2
133	29	-	A区北端部散瓦	常滑	甕	胴部	12c	横目状調整痕 44と同一個体	124-4
134	29	-	A区北端部散瓦	瀬夫	甕	胴部	12c	押印 99と同一個体	124-1
135	29	18	A区北端部散瓦	瀬夫	甕	胴部	12c	押印 12と同一個体	124-3
136	29	-	2号溝北側検出面	常滑	甕	胴部	12c	押印 摩滅	22-2
137	-	-	2号溝北側検出面	常滑	甕	胴部	12c	内面調整 小片	22-5
138	-	-	2号溝北側検出面	瀬夫	甕	胴部	12c		22-4
139	29	-	2号溝北側検出面	瀬夫	甕	胴部	12c	内面に付着物(透か)。二本筋(調整痕か)	246-3
140	29	18	2号溝北側検出面	瀬夫	甕	肩部	12c	解函文 31と同一個体	246-2
141	-	-	2号溝北側検出面	常滑	鉢	口縁	12c		19-2
142	-	-	2号溝北側検出面	常滑	鉢	体部	12c		246-4
143	-	-	3号溝北側検出面	常滑	甕	胴部	12c		126-2
144	29	18	3号土坑北側検出面	常滑	甕	口縁-胴部	12c	内外面透付着	231
145	-	-	A区北端部検出面	常滑	甕	胴部	12c		143
146	29	-	A区北端部検出面	常滑	甕	肩-胴部	12c	42と同一個体	76-6,123-2
147	-	-	A区北端部検出面	常滑	甕	胴部	12c	67と同一個体	5-3
148	29	-	A区北端部検出面	須恵器系	甕	胴部	12c	タタキ 透り痕	5-2
149	-	-	A区中央部 1層下散瓦上	常滑	甕	肩部	12c	摩滅 23と同一個体	202-2
150	-	-	A区中央部 1層下散瓦上	常滑	甕	胴部	12c		202-4
151	-	-	A区中央部 1層下散瓦上	瀬夫	甕	胴部	12c		202-3
152	29	-	B区散瓦	常滑	甕	肩部	12c	42と同一個体	122-2
153	-	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	99-6
154	29	-	B区検出面	常滑	甕	肩部	12c	押印 表面の龜調整痕 42と同一個体	99-3
155	29	-	B区検出面	常滑	甕	肩部	12c	42と同一個体	99-9
156	-	-	B区検出面	常滑	甕	肩部	12c	摩滅 102と同一個体	99-5
157	29	-	B区検出面	常滑	甕	肩部	12c		99-10
158	-	-	B区検出面	常滑	甕	肩部	12c		99-12
159	29	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	99-2
160	-	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	ヘラタテ 67と同一個体	99-4
161	29	18	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	押印 42と同一個体	99-7,113-7
162	-	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c		104-2
163	-	-	B区検出面	瀬夫	甕	胴部	12c	12と同一個体	99-8
164	29	-	B区検出面	瀬夫	甕	胴部	12c	押印	99-11,118-5
165	-	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	断面にガラス貫付着 表面調整 42と同一個体	120-2
166	-	-	B区検出面	常滑	甕	肩部	12c	表面調整 42と同一個体	120-3
167	-	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	42と同一個体	120-4
168	-	-	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c		105-2
169	29	18	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	透函文 170と同一個体	112-2
170	29	18	B区検出面	常滑	甕	胴部	12c	透函文 169と同一個体	112-3
171	29	-	C区2号溝散瓦部	瀬夫	甕	肩部	12c	内面透付着	152-2
172	29	-	C区検出面	常滑	甕	胴部	12c	押印 外面調整痕(二次転用か)	196-3
173	29	18	C区検出面	瀬夫	甕	胴部	12c	押印 12と同一個体	196-2
174	-	-	C区検出面	常滑	鉢	体部	12c	34と同一個体	196-5
175	29	18	出土位置不明	須恵器系	甕	胴部	12c	タタキ 外面調整(二次転用か)	250

表20 中国産磁器観察表 (第4次)

No.	国産	写図	出土位置・層位	種類	器種	部位	年代	備考	登録No.
1	30	-	2号溝東端	白磁	壺	口縁~胴部	12c	皿系	244-4
2	30	19	2号溝東端 上層	白磁	壺	口縁~胴部	12c	皿系	69
3	-	-	2号溝東端 上層	白磁	壺	胴部	12c	皿系	68-7
4	30	19	2号溝東端 上層	白磁	甕	底部	12c	V類	67-1
5	30	19	2号溝東端 上層	青白磁	合子	身	12c後		67-2
6	-	-	2号溝東端 埋土	白磁	壺	胴部	12c	皿系	76-12
7	30	19	2号溝 上層	青磁	壺	胴部	12c後~13c		39-3
8	30	19	2号溝 上層	青磁	壺	胴部	12c後~13c		45-4
9	30	-	2号溝 上層	白磁	甕	体部	12c	甕類	39-4,242-4
10	-	-	2号溝 中~下層	白磁	壺	胴部	12c	皿系	25-2
11	30	-	2号溝	白磁	壺	胴部	12c	皿系	8-9
12	30	19	2号溝	白磁	甕	口縁~体部	12c	甕類	132-3
13	-	-	A~C区2号溝検出面	白磁	壺	胴部	12c	甕類	221-3
14	30	19	C区2号溝 中~下層	白磁	甕	口縁~体部	12c	皿類 輪花	164-5
15	30	19	C区2号溝 中~下層	白磁	甕	口縁~底部	12c	甕類 漆塗茶か	137,176-2
16	-	-	C区2号溝 中~下層	白磁	甕	体部	12c	吉野かV類	176-16
17	30	19	C区2号溝 中~下層	青白磁	合子	蓋	12c後		164-6
18	30	-	8号溝	白磁	壺	胴部	12c	皿系	109-10
19	30	19	P21 下層 (1号創立柱建物跡)	白磁	壺	胴部	12c	皿系	2,5,76-10 76-11, 81-9~11,198
20	30	19	P21 下層 (1号創立柱建物跡)	白磁	皿	体部	12c	V類	239
21	30	19	C区2号溝検灰部	白磁	甕	口縁~体部	12c	吉野	152-4
22	30	-	C区2号溝検灰部	白磁	甕	体部	12c	吉野かV類	152-5
23	30	-	A区北部 1層	白磁	甕	体部	12c	甕類	197-2
24	-	-	A区中央部検出面	青白磁	皿	体部	12c		203

表21 須恵器観察表 (第4次)

No.	国産	写図	出土位置・層位	器種	部位	年代	備考	登録No.
1	-	-	2号溝北端検出面	甕	胴部	平安		246-6
2	30	19	2号溝北端検出面	甕	胴~底部	平安	内外面ハケ目	246-5
3	30	19	2号溝東端 上層	杯	口縁~体部	平安		73-8
4	-	-	2号溝 上層	甕	胴部	平安	内外面ハケ目	8-8
5	-	-	2号溝 上~中層	甕	胴部	平安		23-3

表22 瓦質土器観察表 (第4次)

No.	国産	写図	出土位置・層位	器種	部位	年代	備考	登録No.
1	-	-	2号溝東端	香印	-	13c後半	小片	244-3

表23 瓦観察表 (第4次)

No.	国産	写図	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量(g)	備考	登録No.
					長さ	幅	厚さ			
1	31	-	1号溝	平瓦	<10.7>	<5.0>	1.6	94.0	西面に布目 凸面に鏡目、磨灰砂	15-1
2	31	19	2号溝東端 埋土	軒平瓦	<4.9>	<6.5>	<1.9>	63.2	瓦当部のみ 陶製三巴刺頭文 折り曲げ技法 12c後手組	76-14
3	31	-	2号溝 上層	平瓦	<2.2>	<2.5>	2.0	15.1	西面に布目 凸面に鏡目	16-4
4	-	-	2号溝 上層	-	-	-	-	3.1	小片	242-3
5	-	-	2号溝 上~中層	-	-	-	-	1.7	小片	23-7
6	31	-	2号溝 中層	平瓦	<7.6>	<6.4>	1.6	74.3	西面に布目 凸面に鏡目	10-2
7	31	-	2号溝 中~下層	平瓦	<5.5>	<3.7>	1.9	28.2	西面に布目 凸面に鏡目	20-5
8	31	19	2号溝 中~下層	軒平瓦	<2.6>	<1.9>	<1.5>	4.5	瓦当部一片	20-14
9	31	19	2号溝	平瓦	<10.1>	<8.3>	2.3	227.8	西面に布目 凸面に鏡目、磨灰砂	8-10
10	31	-	A~C区2号溝 上層	平瓦	<4.9>	<5.4>	2.5	46.4	西面に布目 凸面に鏡目、磨灰砂	214-3
11	31	-	C区2号溝 中~下層	丸瓦か	<7.1>	<7.0>	1.5	89.0	西面に布目 凸面に鏡目	150-3
12	31	-	C区2号溝 中~下層	平瓦	<2.7>	<2.3>	1.9	10.4	西面に布目 凸面に鏡目	188-12
13	31	19	C区2号溝 中~下層	軒平瓦	<7.8>	<5.9>	1.9~2.2	131.1	折り曲げ技法 西面に布目 凸面に鏡目 14~15と同一個体か	188-4
14	31	19	C区2号溝 中~下層	軒平瓦	<12.6>	<13.0>	<2.4>	251.3	彫彫刺頭文 折り曲げ技法 13c中頃 西面に布目 凸面に鏡目 13c同一個体か	188-11,189-2
15	-	-	C区2号溝 中~下層	-	-	-	-	34.4	西面に布目 凸面に鏡目 13c同一個体か	189-14
16	31	-	C区2号溝 中~下層	平瓦	<10.9>	<4.9>	2.0	65.6	西面に布目 凸面に鏡目	165-6
17	-	-	3号溝 上層	-	-	-	-	0.9	小片	61-2
18	31	19	5号溝 上層	軒平瓦か	<12.3>	<13.7>	3.0	331.1	折り曲げ技法か 西面に布目 凸面に鏡目、磨灰	136,138-3 143-2
19	31	19	10号溝	平瓦	<4.9>	<3.7>	1.8	46.9	西面に布目 凸面に鏡目 磨面ケズリ	194-3
20	31	-	10号溝	丸瓦か	<6.6>	<6.5>	1.5	95.7	西面に布目 凸面に鏡目	194-2
21	31	-	2号土坑 埋土	丸瓦か	<5.6>	<7.7>	2.0	106.9	西面に布目 凸面に鏡目、一部にヘラケズリか	130-3
22	31	19	7号土坑 上層	丸瓦か	<4.8>	<5.9>	2.1	75.8	西面に布目 凸面に鏡目、一部にヤケか	237-1
23	31	-	C区検出面	平瓦	<6.5>	<6.0>	1.5	46.6	西面に布目 凸面に鏡目	227
24	31	19	A区北部検灰部	丸瓦か	<3.7>	<7.4>	1.5	69.3	西面に布目 凸面に鏡目	124-5
25	31	-	A区南部検出面	平瓦	<6.1>	<5.5>	2.0	84.6	西面に布目 凸面に鏡目	4-2
26	31	-	A区南部検出面	平瓦	<2.9>	<3.3>	<1.0>	13.8	西面に布目 磨面ケズリ	4-3

表24 土壁観察表 (第4次)

No	国版	写回	出土位置・層位	法 量 (cm)			重量(g)	スワの有無	備 考	登録No
				長さ	幅	厚さ				
1	-	-	2号溝東側 上層	2.2	2.3	1.8	6.8	無		68-9
2	-	-	2号溝東側 上層	1.9-5.2	1.8-4.6	2.1-3.7	66.8	有	3点	73-9
3	-	-	2号溝東側 上層	5.4	5.8	2.9	84.8	有		74-2
4	-	-	2号溝東側 上層	1.2-5.1	0.9-3.7	0.8-2.6	36.5	有	5点	83-2
5	-	-	2号溝東側 中～下層	2.3-4.2	1.8-3.3	1.4-1.7	20.4	有	2点	81-2
6	-	-	2号溝東側 埋土	1.3-2.0	1.2-1.8	0.8-1.6	3.4	有	2点	87-2
7	-	-	2号溝東側	1.4-3.1	1.1-2.5	1.2-2.5	59.3	有	10点	76-15
8	-	-	2号溝 上層	1.2	1.3	0.8	1.3	無		16-3
9	-	-	2号溝 中～下層	2.3	2.1	1.5	4.1	有		14-4
10	-	-	2号溝 中～下層	0.9-1.1	0.7-1.1	0.5-0.6	0.7	無	2点	20-7
11	-	-	2号溝 中～下層	5.4	3.1	2.8	37.8	有		25-3
12	-	-	2号溝	1.7	1.4	1.3	2.2	有		132-4
13	-	-	Cf2号溝 上層	1.6	1.1	0.9	1.1	有		178-7
14	-	-	Cf2号溝 上層	1.3-1.8	1.0-1.6	1.0-1.4	3.3	有	2点	183-2
15	-	-	Cf2号溝 上層	2.8	2.4	1.7	8.3	有		214-4
16	-	-	Cf2号溝 上層	1.1-2.8	1.1-2.0	1.1-1.7	7.2	有	3点	163-3
17	-	-	Cf2号溝 中～下層	4.8	3.5	3.2	35.3	有		147-3
18	-	-	Cf2号溝 中～下層	1.5-2.1	1.3-1.6	1.0-1.2	3.5	有	2点	167-2
19	-	-	Cf2号溝 中～下層	1.3-6.1	1.0-3.6	0.6-2.7	79.4	有	3点	179-4
20	30	19	Cf2号溝 中～下層	7.1	3.4	3.1	54.2	有		180-2
21	-	-	Cf2号溝 中～下層	3.2	2.7	2.2	7.8	有		182-8
22	-	-	Cf2号溝 中～下層	1.7-2.4	1.5-1.6	1.3-1.4	8.9	有	3点	185-2
23	-	-	Cf2号溝 中～下層	3.4	2.6	2.2	9.8	有		165-7
24	-	-	Cf2号溝検出面	3.3	2.0	1.5	5.6	無		169-4
25	-	-	Cf2号溝検出面	0.9-2.8	0.7-2.2	0.4-1.2	3.5	有	2点	221-4
26	-	-	4号溝 上層	1.7	1.5	0.6	1.2	有		47-3
27	-	-	4号溝 上層	1.5-2.3	1.3-2.4	1.3-1.6	6.4	有	3点	31-2
28	-	-	4号溝 上～下層	4.5	3.5	3.0	30.2	有		49-3
29	-	-	6号溝 埋土	1.2	1.3	1.0	1.4	有		101-5
30	-	-	6号溝	1.0	1.0	0.6	0.5	有		114-4
31	-	-	1号井戸 上層	1.5	1.2	1.0	1.5	有		210-2
32	-	-	1号土坑 上層	1.4	1.1	1.0	1.2	有		30-2
33	-	-	Pf	2.4	2.1	0.8	3.5	有		7-8
34	-	-	P5	3.6-4.1	2.9-3.3	1.5-1.6	40.8	有	3点	79
35	-	-	P9	1.5-2.0	0.9-1.6	1.0-1.3	4.5	無	2点	44-2
36	-	-	Cf2号溝検出面	1.3	1.0	0.6	0.5	有		152-6
37	-	-	2号溝の北側検出面	2.4	1.9	1.4	4.2	有		246-7
38	-	-	B区東西トレンチ	1.7	1.2	0.9	2.0	有		112-5
39	-	-	Cf1検出面	3.4	2.5	1.6	7.2	有		196-6

表25 羽口観察表 (第4次)

No	国版	写回	出土位置・層位	法 量 (cm)			重量 (g)	備考	登録No
				長さ	幅	厚さ			
1	-	-	2号溝東側 上層	2.1	1.6	0.6	1.6	小片	68-8
2	-	19	Cf2号溝 中～下層	3.5	2.7	2.5	18.2		189-3
3	-	-	8号溝 埋土	2.8	1.9	1.2	4.7		113-10

表26 鉄製品観察表 (第4次)

No	国版	写回	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量 (g)	備考	登録No
					長さ	幅	厚さ			
1	32	20	Cf2号溝 中～下層	鎌先	20.4	<18.7>	0.4	248.6	風呂呂13.0cm, 風呂輪11.4cm, 刃幅7.4cm	158
2	32	20	5号溝 埋土		<3.9>	<3.4>	0.4	5.2	笠状	138-4
3	32	20	1号井戸 下層	刀子	26.2	2.3	0.5	103.1	全長29.2cm, 柄部幅1.6cm, 厚さ0.3cm	236

表27 鉄滓観察表 (第4次)

No	国版	写回	出土位置・層位	重量 (g)	粘着	備考	登録No
2	-	-	2号溝 上層	2.9	有		39-5
3	-	-	Cf2号溝 上層	3.3	有		214-5
4	-	-	Cf2号溝 中～下層	8.4	有		145-2
5	-	-	3号溝 下層	6.1	有		62-3
6	-	-	6号溝 埋土	29.2	有		101-6
7	-	-	8号溝	3.6	有		107-5
8	-	-	2号土坑 埋土	1.3	有		130-4
9	-	20	A区北部南側状	114.3	有		141-4
10	-	-	2号溝の北側検出面	0.7	有		19-3
11	-	-	2号溝の北側検出面	2.7	有		22-6
12	-	-	A区北端部検出面	3.7	有		135-2
13	-	-	A区北端部検出面	0.7	無		135-3
14	-	-	B区	4.7	有		122-4
15	-	-	B区検出面	105.1	有		99-16
16	-	-	B区東西トレンチ	7.1	有		105-3

表28 木製品観察表 (第4次)

No	国産	写回	出土位置・層位	種類	形状	法 量 (cm)			備考	登録No
						長さ	幅	厚さ		
1	32	-	1号溝	板	板状	31.8	<5.1>	0.3		172
2	32	-	1号溝 埋土	漆器	板	-	-	-		93-3
3	-	-	1号溝 埋土	漆器	板小	-	-	-		94-5
4	32	-	1号溝 埋土	板	板状	<14.8>	1.2	0.5	端部あり	94-6
5	32	20	2号溝 上層	加工木	棒状	10.8	0.7	0.4	先端欠っている	242-6
6	32	-	2号溝 中～下層	加工木	棒状	<13.3>	3.4	1.9		20-17
7	32	-	2号溝 中～下層	板	板状	<8.4>	5.5	1.8		20-18
8	32	-	2号溝 中～下層	漆器	板小	-	-	-		24
9	32	20	2号溝 中～下層	下駄の歯	板状	3.0	13.7	2.2	切り落とされた先端部	25-4
10	32	20	2号溝 中～下層	加工木	板状	<12.5>	1.8	0.3	破れか	25-5
11	32	20	2号溝 中～下層	部材	板状	11.7	1.6	0.8	両端部に突起	33-3
12	32	-	2号溝 中～下層	板	板状	<20.6>	0.8	0.3	細い	33-9
13	32	-	2号溝 下層	漆器	板	-	-	-	小片	11
14	32	20	2号溝 下層	加工木	板状	3.4	2.1	0.5	墨痕あり	83-1
15	32	-	2号溝	木材	丸太状	14.3	9.5	6.5	焦げている	264
16	32	-	A-C区2号溝 上層	加工木	板状	3.8	2.2	0.6		214-6
17	32	-	A-C区2号溝 上層	加工木	加工木	<6.7>	2.2	0.2		214-21
18	32	-	A-C区2号溝 上層	漆	棒状	<8.1>	0.7	0.6		214-22
19	32	-	A-C区2号溝 上層	部材	棒状	21.3	1.5	1.1	先端欠っている	216-4
20	33	-	A-C区2号溝 上層	加工木	板状	2.2	3.9	1.9		216-10
21	33	-	A-C区2号溝 上層	加工木	棒状	<13.7>	0.7	0.5		216-11
22	33	-	A-C区2号溝 中～下層	加工木	板状	7.5	3.9	<1.9>		217-2
23	33	-	A-C区2号溝 中～下層	加工木	板状	18.1	4.3	3.0		217-10
24	33	20	C区2号溝 上層	加工木	板状	<8.2>	4.8	0.4	先端凹形	144-7
25	33	-	C区2号溝 中～下層	下駄	<13.6>	<1.8>	4.8	0.4	端部下駄 一部の残存	149-1
26	33	20	C区2号溝 中～下層	形代か	板状	<7.0>	<3.5>	0.4	扁形	165-8
27	33	20	C区2号溝 中～下層	的	板状	<12.7>	<3.0>	0.3	帯で同心円を描いた 部的の直径約15.2 cm(推定)	166-2
28	-	-	C区2号溝 中～下層	漆器	板小	-	-	-	小片	167-3
29	33	-	C区2号溝 中～下層	部材か	板状	<20.7>	1.8	0.6	端部が欠化	189-13
30	33	-	C区2号溝 中～下層	加工木	板状	4.8	9.4	0.5		189-14
31	33	-	C区2号溝 中～下層	加工木	板状	9.2	1.6	0.8	先端欠っている	189-15
32	33	-	C区2号溝 中～下層	加工木	板状	2.8	4.0	1.9		189-16
33	33	-	出土位置不明	加工木	棒状	<41.3>	2.9	2.8		177-6
34	33	-	出土位置不明	加工木	棒状	<52.4>	3.7	4.5		178
35	33	-	C区2号溝 中～下層	加工木	板状	13.1	2.6	1.2	漆の剥がれ跡跡小	217-11
36	33	20	8号溝	部材	板状	3.8	11.4	0.7	棒状に釘穴あり	115-6
37	33	20	P61	柱杭	丸太状	<30.9>	15.7	14.8	底部タール付着 多角形に削取	195
38	33	20	1号井戸 下層	加工木	板状	<4.5>	4.8	0.3	欠化	241-1
39	33	-	1号井戸 下層	加工木	板状	8.6	3.3	1.2	欠化	241-5
40	33	-	1号井戸 下層	鐵筆	頭～首部	<3.7>	<5.2>	0.6	複合	232-4
41	33	-	C区2号溝 中～下層	板	棒状	110.4	6.9	6.0	4片接合	204
42	32	20	2号土坑	漆器	皿	口径 -	底径 6.8	器高 -	内外両底部にも漆あり	129

表29 石製品観察表 (第4次)

No	国産	写回	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量 (g)	色調	備考	登録No
					長さ	幅	厚さ				
1	34	-	2号溝 上層	磁石	<13.5>	10.5	3.0	641.5	2.5GY6/Y1サーブ灰	板状 側面に3ヶ所磨痕	225
2	34	20	2号溝 埋土	磁石	<3.0>	<1.9>	<0.7>	2.9	5Y7/1灰白	磨痕	76-21
3	-	-	2号溝 中～下層	磁石	<4.7>	<3.1>	<0.5>	6.7	2.5Y7/1灰白	小片	20-6
4	34	20	2号溝	礫石	1.6	1.7	0.6	2.2	N1.5黒		8-15
5	34	-	C区2号溝 上層	加工石	<4.7>	1.7	<1.2>	13.5	5Y4/1灰灰	長方形	183-3
6	34	20	C区2号溝 中～下層	磁石	<15.8>	6.9	2.1	456.9	N3 暗灰	棒状	182-13
7	34	20	C区2号溝 中～下層	磁石	<8.0>	<6.6>	2.2	204.8	5Y6/1灰	磨痕	182-12
8	34	20	C区2号溝 中～下層	加工石	<14.9>	<4.6>	<2.4>	203.3	N2 黒	縦長板状	185-10
9	34	20	C区2号溝検出面	磁石	11.9	<6.2>	<2.9>	241.4	2.5GY6/Y1サーブ灰	3面に磨痕	169-8
10	34	-	3号溝 埋土	磁石	8.7	6.2	2.7	142.1	10Y R8/2灰白	4面に磨痕	75-1
11	34	-	8号溝	磁石	6.7	5.6	1.9	76.4	2.5Y8/1灰白		106-3
12	-	-	8号溝	磁石	<4.3>	<2.6>	<0.8>	6.5	5Y7/1灰白	小片	106-4
13	-	-	8号溝	磁石	<4.6>	<3.3>	<2.3>	22.1	5Y7/1灰白	小片	113-14
14	-	-	8号溝	磁石	<6.3>	<3.7>	3.1	47.0	5Y7/1灰白	2片接合	106-9
15	34	-	区東西トレンチ	磁石	<12.0>	4.1	1.8	127.9	2.5Y8/1灰白		112-7

表30 石器観察表 (第4次)

No	国産	写回	出土位置・層位	種類	法 量 (cm)			重量 (g)	備考	登録No
					長さ	幅	厚さ			
1	-	20	6号溝 埋土	石鏝	<2.0>	<1.5>	<0.2>	0.8		101-10
2	-	7号溝 埋土	石鏝	石鏝	10.7	7.8	4.3	458.1		118-11
3	-	20	8号溝	石鏝	5.7	2.8	0.4	13.0		109-16
4	-	20	8号溝検出面	石鏝	1.9	1.2	0.4	0.7		102

表31 種子觀察表(第4次)

No.	圃版	写因	出土位置・層位	種 類	種別・点数	登録No.
1	-	-	1号溝 理上	種子	桃1点	94-3
2	-	-	1号溝 理上	種子	梅1点, 松少52点	224-3
3	-	-	1号溝 検出面	種子	桃1点	7-5
4	-	-	1号溝	種子	胡桃1点, 桃2点, 松少518点	15-5
5	-	-	1号溝	種子	桃2点, 松少52点, 不明1点	17-7
6	-	-	2号溝表層 理上	種子	胡桃1点, 桃11点	87-5
7	-	-	2号溝表層	種子	桃3点	244-9
8	-	-	2号溝表層 上層	種子	桃2点	85-3
9	-	-	2号溝表層 上層	種子	胡桃3点, 桃8点	68-12
10	-	-	2号溝表層 上層	種子	胡桃31点, 桃47点, 不明3点	73-13
11	-	-	2号溝表層 中～下層	種子	胡桃3点, 桃75点, 梅3点, 平6.6.4点	81-6
12	-	-	2号溝表層 理上	種子	胡桃7点, 桃70点, 梅1点, 平6.6.2点, 不明3点	76-19
13	-	-	3号溝表層 理上	種子	桃5点	75-3
14	-	-	2号溝 上層	種子	胡桃21点, 桃11点, 平6.6.2点	16-9
15	-	-	2号溝 上層	種子	胡桃1点, 桃2点	32-2
16	-	-	2号溝 上層	種子	胡桃1点, 桃2点, 不明3点	39-8
17	-	-	2号溝 上層	種子	胡桃4点	242-9
18	-	-	2号溝 上～中層	種子	胡桃2点	23-5
19	-	-	2号溝 中層	種子	胡桃8点, 桃5点	10-6
20	-	-	2号溝 中～下層	種子	胡桃22点, 桃43点, 平6.6.1点, 不明1点	14-7
21	-	-	2号溝 中～下層	種子	胡桃1点, 桃10点, 梅1点	33-6
22	-	-	2号溝 中～下層	種子	胡桃30点, 桃44点, 梅1点, 平6.6.1点	25-9
23	-	-	2号溝 中～下層	種子	胡桃48点, 桃21点, 平6.6.1点, 不明1点	20-11
24	-	-	2号溝 下層	種子	胡桃4点, 桃6点	12-5
25	-	-	2号溝 下層	種子	胡桃9点, 桃8点, 梅2点, 不明2点	243-6
26	-	-	2号溝	種子	胡桃5点, 桃8点, 梅1点	8-14
27	-	-	2号溝	種子	胡桃3点	221-7
28	-	-	2号溝	種子	胡桃17点, 桃2点	132-2
29	-	-	A-C区2号溝 上層	種子	胡桃25点, 桃6点, 梅2点, 不明2点	214-10
30	-	20	A-C区2号溝 上層	種子	胡桃9点, 桃7点, 梅1点, 不明8点	215-5
31	-	-	A-C区2号溝 上層	種子	胡桃9点, 桃3点, 梅4点, 不明8点	216-7
32	-	-	A-C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点, 桃7点, 梅1点	217-7
33	-	-	A-C区2号溝	種子	胡桃3点, 桃3点, 梅1点, 不明3点	228-6
34	-	-	A-C区2号溝	種子	桃3点	229-1
35	-	-	C区2号溝 上層	種子	胡桃1点	144-10
36	-	-	C区2号溝 上層	種子	胡桃1点	183-4
37	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点	145-5
38	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃7点, 桃2点	146-6
39	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃5点, 桃1点	147-7
40	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点	150-5
41	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃3点, 桃2点	166-7
42	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点, 桃4点	164-8
43	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃2点, 桃5点	167-5
44	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃2点, 桃2点	176-14
45	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃14点, 桃3点, 松少51点	177-10
46	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点, 桃2点	179-6
47	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃2点, 桃6点	180-6
48	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃2点, 桃1点	181-4
49	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	桃1点	182-11
50	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点, 桃2点	185-6
51	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃2点, 桃4点	188-9
52	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	胡桃1点, 桃2点	148-6
53	-	-	C区2号溝 中～下層	種子	桃1点	165-10
54	-	-	C区2号溝 検出面	種子	胡桃1点, 不明2点	169-7
55	-	-	3号溝表層 下層	種子	桃2点	64-1
56	-	-	3号溝 上層	種子	桃5点	60-2
57	-	-	3号溝 上層	種子	桃2点	61-3
58	-	-	3号溝 下層	種子	桃11点, 平6.6.1点	62-6
59	-	-	3号溝 理上	種子	胡桃4点, 桃4点	64-4
60	-	-	3号溝	種子	桃1点	127-2
61	-	-	4号溝 上～下層	種子	桃5点	40-6
62	-	-	4号溝 中～下層	種子	桃5点	48-5
63	-	-	4号溝 下層	種子	桃1点	66-3
64	-	-	5号溝 理上	種子	桃1点	138-6
65	-	-	7号溝 理上	種子	胡桃1点, 桃1点	118-9
66	-	-	8号溝 理上	種子	不明1点	115-2
67	-	-	8号溝 理上	種子	桃1点	116-5
68	-	-	8号溝	種子	桃2点	109-14
69	-	-	8号溝	種子	胡桃1点	113-13
70	-	-	Ⅱ区 南東上1号少	種子	桃5点	98-5
71	-	-	Ⅱ区 検出面	種子	桃4点	99-19
72	-	-	Ⅱ区 検出面	種子	桃1点	103-3
73	-	-	Ⅱ区 検出面	種子	胡桃2点	122-7
74	-	-	1号井戸 上層	種子	松少51点	210-5
75	-	-	1号井戸 下層	萌枝	松樹枝2点	232-5
76	-	-	1号土坑 上層	種子	胡桃2点, 桃1点, 松少51点	50-5
77	-	20	1号土坑 下層(Ⅱ)	種子	胡桃2点, 桃1点	206-4
78	-	20	1号土坑 理上	種子	胡桃2点, 桃1点	206-10
79	-	-	2号土坑北半 理上	種子・萌枝	松少51点, 萌枝2点	140-4
80	-	-	4号土坑	種子	胡桃1点, 桃1点, 松少51点, 不明1点	219-5
81	-	-	C区2号溝検出面	種子	胡桃1点, 桃3点, 梅1点	132-10

IV 自然科学分析

祇園 I 遺跡（第 4 次調査）における放射性炭素年代（AMS 測定）

（株）加速器分析研究所

1 測定対象試料

祇園 I 遺跡（第 4 次調査）は、岩手県西磐井郡平泉町平泉字祇園地内（北緯 38° 58' 31"、東経 141° 6' 54"）に所在し、平泉町中心部の南側、太田川の南岸に位置する。圃場整備により地形が改変されており、現在は平坦な地形となっている。現状は水田で、標高はおおむね 23m である。測定対象試料は、溝跡や土坑、井戸跡から採取された炭化物 3 点と木片 1 点の合計 4 点である（表 1）。推定年代は出土遺物から 12 世紀代と考えられている。

2 測定の意義

遺構と遺物の年代を比較検討するとともに、当地域における土地利用の開始時期等の情報が得られることを目的とする。

3 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 1mol/ℓ（IM）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と表 1 に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO₂）を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした ¹⁴C-AMS 専用装置（NEC 社製）を使用し、¹⁴C の計数、¹³C 濃度（¹³C/¹²C）、¹⁴C 濃度（¹⁴C/¹²C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) δ¹³C は、試料炭素の ¹³C 濃度（¹³C/¹²C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表 1）。AMS 装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C 年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中 ¹⁴C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期（5568 年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。¹⁴C 年代は δ¹³C によって同位体効果を補正する必要がある。

ある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差($\pm 1\sigma$)は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい(^{14}C が少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上(^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差($1\sigma = 68.2\%$)あるいは2標準偏差($2\sigma = 95.4\%$)で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース(Reimer et al. 2013)を用い、OxCalv4.3較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

6 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の ^{14}C 年代は $910 \pm 20\text{yrBP}$ (試料254)から $790 \pm 20\text{yrBP}$ (試料256)の間にある。暦年較正年代(1σ)は、最も古い試料254が1047 ~ 1163cal ADの間に3つの範囲、最も新しい試料256が1224 ~ 1261cal ADの間に2つの範囲でそれぞれ示される。炭化物試料3点(試料247、250、254)は11世紀から12世紀頃の推定年代を含むが、木片試料256は13世紀頃と推定年代よりもやや新しい結果となった。

炭化物試料3点はいずれも炭化材と観察され、他の1点も炭化していないが木片である。このことから、以下に記述する古木効果を考慮する必要がある。

樹木の年輪の放射性炭素年代は、その年輪が成長した年の年代を示す。したがって樹皮直下の最外年輪の年代が、樹木が伐採され死んだ年代を示し、内側の年輪は、最外年輪からの年輪数の分、古い年代値を示すことになる(古木効果)。今回測定された試料はいずれも樹皮が確認されていないことから、試料となった木が死んだ年代は測定された年代値よりも新しい可能性がある。

試料の炭素含有率はすべて57%を超える適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360
- Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887
- Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

表1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-181999	247	遺構: 2号溝 上層	炭化物	AAA	-27.81 ± 0.37	900 ± 20	89.43 ± 0.24
IAAA-182000	250	遺構: 5号溝 中層	炭化物	AAA	-27.24 ± 0.48	890 ± 20	89.54 ± 0.25
IAAA-182001	254	遺構: 1号土坑 下層	炭化物	AAA	-28.91 ± 0.37	910 ± 20	89.32 ± 0.24
IAAA-182002	256	遺構: 1号井戸 下層	木片	AAA	-28.70 ± 0.31	790 ± 20	90.60 ± 0.24

[IAA登録番号: #9393]

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年校正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用 (yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-181999	940 ± 20	88.92 ± 0.23	897 ± 21	1049calAD - 1085calAD (35.7%) 1124calAD - 1137calAD (9.1%) 1150calAD - 1170calAD (19.5%) 1176calAD - 1182calAD (3.9%)	1042calAD - 1104calAD (43.6%) 1117calAD - 1210calAD (51.8%)
IAAA-182000	920 ± 20	89.13 ± 0.23	887 ± 22	1054calAD - 1079calAD (21.2%) 1153calAD - 1192calAD (41.5%) 1198calAD - 1205calAD (5.5%)	1045calAD - 1094calAD (30.0%) 1120calAD - 1141calAD (8.2%) 1147calAD - 1217calAD (57.2%)
IAAA-182001	970 ± 20	88.61 ± 0.23	907 ± 21	1047calAD - 1089calAD (40.9%) 1122calAD - 1139calAD (14.0%) 1148calAD - 1163calAD (13.3%)	1039calAD - 1185calAD (95.4%)
IAAA-182002	850 ± 20	89.91 ± 0.23	793 ± 21	1224calAD - 1236calAD (25.5%) 1241calAD - 1261calAD (42.7%)	1216calAD - 1272calAD (95.4%)

[参考値]

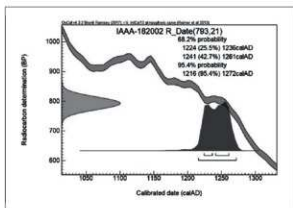
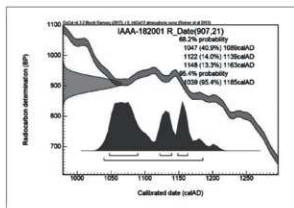
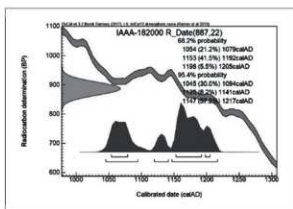
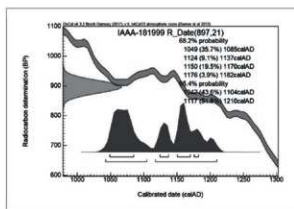


図1 暦年較正年代グラフ (参考)

V まとめ

祇園地区には『吾妻鏡』に平泉の南方鎮守として記された祇園社（八坂神社）が所在し、過去の発掘調査においては大型掘立柱建物跡や四面庇建物跡が検出されていたが、まとまった量の遺物が出土したのは今回の調査が初めてである。出土遺物を見てみると、かわらけや常滑・渥美産を中心とした国産陶器、白磁を中心とした中国産磁器など、志羅山遺跡や泉屋遺跡といった平泉中心部の遺跡と遜色ない内容の遺物が出土している。しかし、昭和40年代の圃場整備の際に土器などが大量に見つかったという近隣住民の話もあり、当地域が圃場整備により大きく削平されている様子が窺える。

(1) 遺構 第3次調査においては、東北自動車道寄りの西側では遺構がほとんど検出されず、遺物もわずかであることが判明した。しかし、第4次調査区寄りの東側については、規模の大きい溝跡や井戸跡、土坑、柱穴等が検出され、かわらけや国産陶器、中国産磁器といった12世紀代の遺物も多く出土している。

第4次調査においては、第3次調査4トレンチ1号溝の延伸部を2号溝として検出し、埋土からは多くの遺物が出土している。また、2号溝は底面に段を持ち高い箇所と低い箇所を有する特徴的な遺構である。これまでに平泉町内で同様の遺構は検出されおらず、本調査でも部分的な検出であったため、どのような性格の段差か不明である。本遺構が掘られる際の人夫単位による差などの可能性が考えられるが、今後も検討を要する遺構である。また、2号溝は第3次調査区で南西方向に向きを変えるようであるが、廻るものか途切れるものかの判断は本調査においてはできなかった。第4次調査においては掘立柱建物跡や井戸跡も検出されており、12世紀の屋敷地であったとみられる。

(2) 遺物 かわらけは手づくねかわらけが主体である。中でも第4次調査の4号溝を中心に出土しているかわらけは、底面がほぼ平坦で器高がやや高く、側面に撫上げ調整痕がみられるものが多い（第4次33、34、36～38など）。全体的には灯明皿も多く含まれる。灯明皿の中には、酸化しているエゴマ油のにおいが残っているものがある。また、「兵 奔王」と書かれた墨書かわらけ（第4次13）も出土している。「奔王」は大将棋等に存在する将棋駒の一種であると思われる。国産陶器は第3次調査で69点、第4次調査で175点が出土している。器種ごとの内訳は、常滑産は甕が131点、片口を含む鉢が20点、壺が3点、渥美産は甕62点、片口を含む鉢が4点、壺が10点、須恵器系陶器は甕が9点、壺が1点、水沼産は甕が4点である。太田川以南の地域で水沼産陶器が出土したのは今回が初めてである。中国産磁器は第3次調査と第4次調査合わせて29点が出土している。白磁が主体を占めるが、青磁の2点（第4次7、8）については小片であるものの平泉でも出土事例の少ない器種であると思われる。瓦は第3次と第4次で合わせて33点が出土しており、瓦葺きの建物の存在が窺える。

本調査において祇園社と直接関連するような遺構や遺物は確認されていないが、今回の調査成果からは第4次調査区付近を西端として八坂神社が遺跡の中心となるような遺構の分布状況が垣間見える。また、出土したかわらけや陶磁器類の量、瓦葺き建物の可能性等から当地域においては祇園社に関わる有力者の存在が窺うことができ、祇園I遺跡第1次調査の成果と合わせ、12世紀における平泉の南方の広がりを考察する上で重要な地点であると言える。



調査区遠景 (南西から)



1トレンチ全景 (南から)



2トレンチ全景 (北から)



2トレンチ1号溝 (北から)



3トレンチ全景 (南から)



3トレンチ井戸跡断面 (東から)



3トレンチ土坑断面 (東から)



3トレンチ1号溝断面(北から)



4トレンチ全景(南から)



4トレンチ1号溝(東から)



4トレンチ1号溝断面(北東から)



4トレンチ土坑遺物出土状況(西から)



5トレンチ全景(東から)



6トレンチ全景(東から)



7トレンチ全景(東から)



8トレンチ全景 (東から)



9トレンチ全景 (東から)



10トレンチ全景 (東から)



11トレンチ全景 (西から)



12トレンチ全景 (西から)



13トレンチ全景 (南から)



14トレンチ全景 (西から)



16トレンチ全景 (東から)



17トレンチ全景(東から)



18トレンチ全景(東から)



19トレンチ全景(北から)



20トレンチ全景(北から)



21トレンチ全景(北から)



22トレンチ全景(北から)

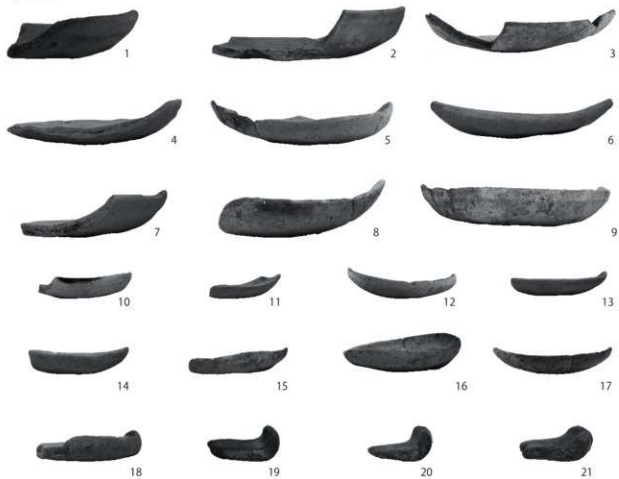


23トレンチ全景(北から)

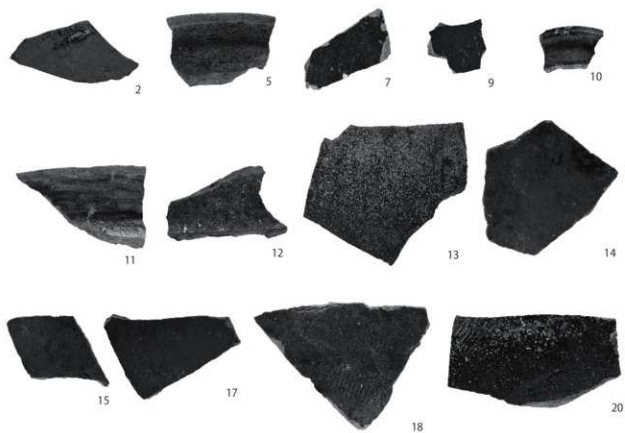


24トレンチ全景(西から)

かわらけ



国産陶器



写真図版5 出土遺物(1)(第3次)



写真図版6 出土遺物(2)(第3次)

中国産磁器



1



2



3

須恵器



1

瓦



1



2

木製品



3



2



6



9



1



4



5



8

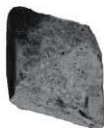


7

石製品

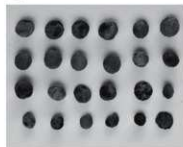


1



2

種子



3



4

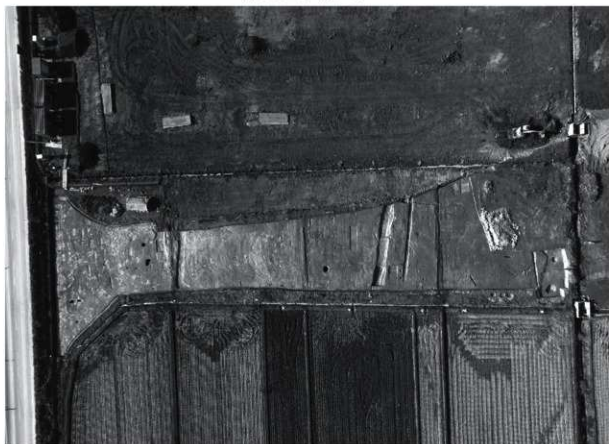


6

写真図版7 出土遺物(3)(第3次)



調査区全景 (南から)



A・C区直上 (上が西)



B区全景 (西から)



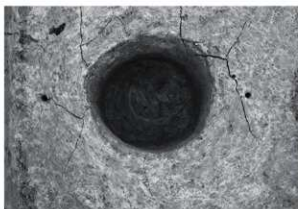
A区西壁断面 (東から)



B区南壁断面 (北から)



1号掘立柱建物跡全景 (西から)



P21完掘 (南から)



P21断面 (南から)



P21白磁出土状況 (南から)



2号掘立柱建物跡検出状況 (北から)



P29完掘 (東から)



P29断面 (東から)



P29柱根 (東から)



1号溝全景 (西から)



1号溝断面 (東から)



A区2号溝全景(西から)



A区2号溝東壁断面(西から)



A区2号溝東半落ち込み部(西から)



C区2号溝全景(東から)



C区2号溝断面(東から)



C区2号溝遺物出土状況(北から)



3号溝全景(西から)



3号溝断面(東から)



3号溝遺物出土状況(南から)



3号溝・4号溝・1号土断面(東から)



4号溝全景(南から)



4号溝遺物出土状況(東から)



5号溝全景(西から)



5号溝断面(東から)



6号溝全景(東から)



6号溝断面(西から)



7号・8号溝全景(西から)



7号溝断面(東から)



8号溝断面(東から)



C区9号・10号溝検出検出(北から)



1号井戸完掘(南から)



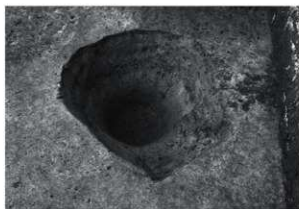
1号井戸断面(南から)



1号土坑遺物出土状況(東から)



1号土坑下位断面(東から)



2号土坑完掘 (南から)



2号土坑断面 (南から)



3号土坑完掘 (南から)



3号土坑断面 (南から)



4号土坑完掘 (南から)



4号土坑断面 (南から)



5号土坑完掘 (南西から)



5号土坑断面 (西から)



6号土坑完掘(東から)



6号土坑断面(西から)



7号土坑完掘(西から)



7号土坑断面(西から)



8号土坑断面(東から)



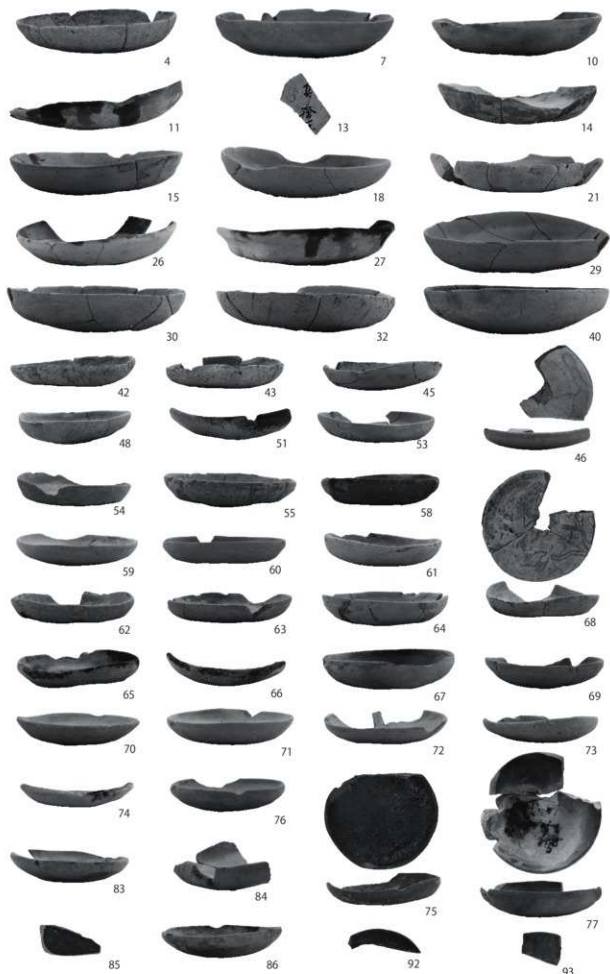
現地説明会



9号土坑完掘(西から)



9号土坑断面(西から)

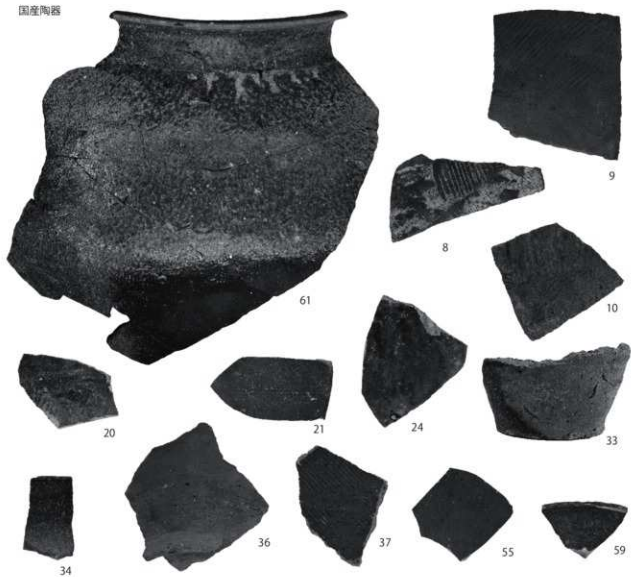


写真図版16 出土遺物(1)(第4次)

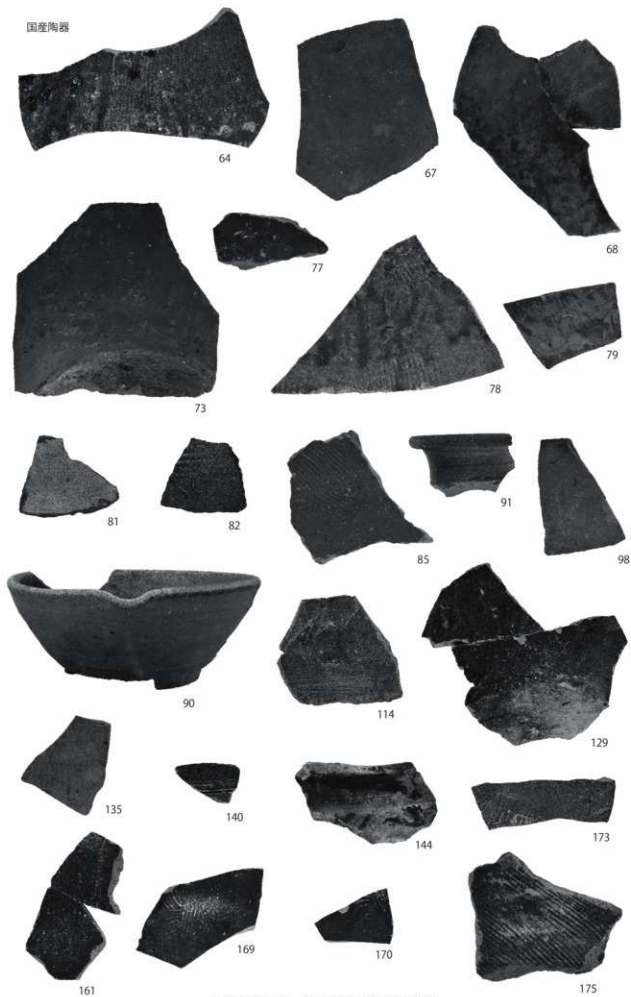
かわらけ



国産陶器



写真図版17 出土遺物(2)(第4次)



写真図版18 出土遺物(3)(第4次)

中国産磁器



須恵器



瓦質土器



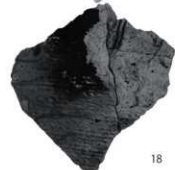
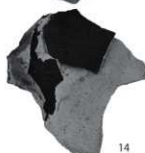
土壁



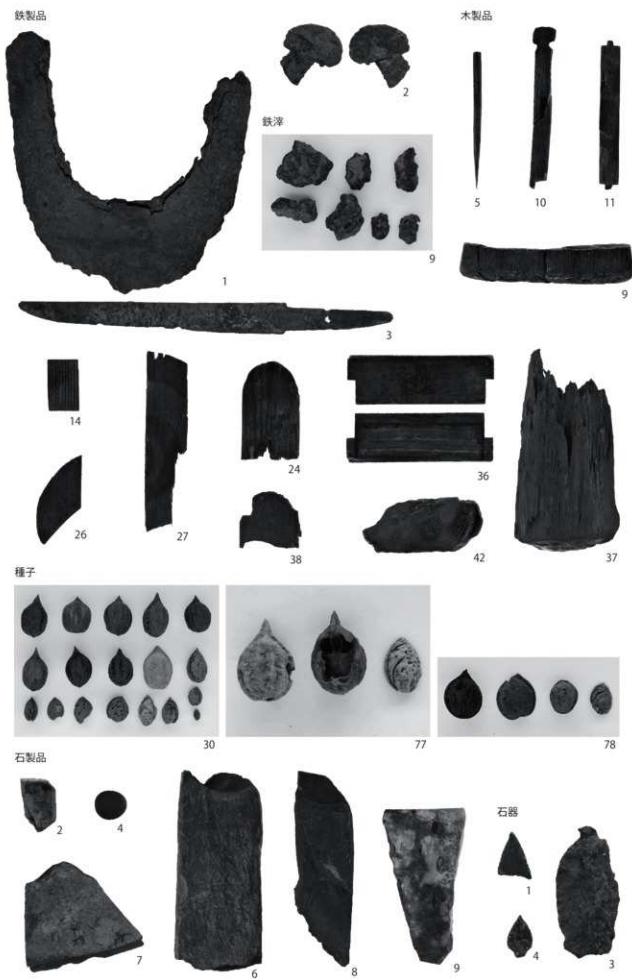
羽口



瓦



写真図版19 出土遺物(4)(第4次)



写真図版20 出土遺物(5)(第4次)

報告書抄録

ふりがな	ぎおんいちいせきだい3じ・だい4じはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	祇園I遺跡第3次・第4次発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	岩手県平泉町文化財調査報告書							
シリーズ番号	第136集							
編著者名	鈴木博之							
編集機関	平泉町教育委員会							
所在地	〒029-4102 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45番地2 電話(0191)46-2111(代)							
発行年月日	西暦2020年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
祇園I遺跡第3次	岩手県西磐井郡平泉町平泉字祇園地内	03402	NE86-0006	38°58′30″	141°06′48″	20171012～1221	640㎡	スマートインターチェンジ建設関連
祇園I遺跡第4次	岩手県西磐井郡平泉町平泉字祇園地内	03402	NE86-0006	38°58′31″	141°06′54″	20180719～1207	1,900㎡	スマートインターチェンジ建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
祇園I遺跡第3次	散布地	平安	溝跡、井戸跡、土坑、柱穴		かわらけ、国産陶器、中国産磁器、瓦、木製品、石製品			
祇園I遺跡第4次	散布地	平安	掘立柱建物、溝跡、井戸跡、土坑、柱穴		かわらけ、国産陶器、中国産磁器、瓦、鉄製品、木製品、石製品			
要約	<p>・祇園I遺跡第3次 事業地内の東寄りでは土坑や溝跡、井戸跡などを検出した。特に、東側の第4次調査区へ延びる規模の大きな溝跡からは多くの遺物が出土した。西側の東北自動車道寄りでは遺構・遺物とも希薄である。</p> <p>・祇園I遺跡第4次 複数の溝跡や掘立柱建物跡、井戸跡、土坑等を検出した。中でも第3次調査区から延びる調査区を東西に横断する溝跡からは遺物が多く出土した。また、遺物もかわらけを中心に国産陶器や中国産磁器、鉄製品等、12世紀の平泉中心域と遜色ない内容と質の遺物が出土した。第3次調査の成果と合わせ、太田川南岸地域における重要な成果と言える。</p>							

岩手県平泉町文化財調査報告書第136集

祇園 I 遺跡第3次・第4次発掘調査報告書

印刷 令和2年3月27日

発行 令和2年3月31日

編集・発行 平泉町教育委員会
〒029-4102 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山45番地2
電話 (0191)46-2111(代) FAX (0191)46-2015

印刷 コンカツ印刷株式会社
〒021-0021 一関市中央町一丁目7-16
電話 (0191)48-5963

© 平泉町教育委員会 2020